

# 薬剤師の需給状況調査 結果

山口県薬剤師会

会長 吉田力久

## 【目的】

**将来的な薬剤師不足・地域偏在の解消**、山口東京理科大学薬学部卒業生の県内就業促進を図るため、山口県（薬務課）及び山口東京理科大学と共同で、薬局業務と薬剤師充足状況に関するアンケート調査を実施。

本調査は、現在の充足状況や、将来予測を目的に**複数年にわたる全数調査**とする。

調査結果は、県内の薬剤師確保に係る取組推進の目的のみに使用され、回答内容についてはすべて統計的に処理し、個々の施設の回答内容の詳細を公表することはない。

薬局業務と薬剤師充足状況に関するアンケート調査

地域薬剤師会 \_\_\_\_\_  
 薬局名 \_\_\_\_\_  
 電話番号 \_\_\_\_\_

1. 勤務人数と勤務時間に関して(R4年9月30日時点)

1-1. 勤務している常勤薬剤師の人数と1週間の平均勤務時間は何時間ですか?

※1週間あたり32時間以上の勤務を常勤1名として回答してください。

例) Aさん35時間、Bさん40時間の場合、 $(35+40)/2=37.5$  回答欄:37.5

小数点第2位以下四捨五入し記入してください。

年代	男性人数	勤務時間数平均/週	女性人数	勤務時間数平均/週
20代	男性 人		女性 人	
30代	男性 人		女性 人	
40代	男性 人		女性 人	
50代	男性 人		女性 人	
60代	男性 人		女性 人	
70代	男性 人		女性 人	
80代	男性 人		女性 人	

1-2. 勤務している非常勤薬剤師の人数と1週間の平均勤務時間は何時間ですか?

※1週間あたり32時間未満の勤務を非常勤1名として回答してください。

登録のみの0時間の非常勤薬剤師はカウントしないでください。実際に勤務のある人数を回答してください。

例) Aさん28時間、Bさん15時間の場合、 $(28+15)/2=21.5$  回答欄:21.5

小数点第2位以下四捨五入し記入してください。

年代	男性人数	勤務時間数平均/週	女性人数	勤務時間数平均/週
20代	男性 人		女性 人	
30代	男性 人		女性 人	
40代	男性 人		女性 人	
50代	男性 人		女性 人	
60代	男性 人		女性 人	
70代	男性 人		女性 人	
80代	男性 人		女性 人	

1-3. 勤務している事務職員の人数と1週間の平均勤務時間は何時間ですか?

※男女、年代、性別に関係なく、合算した人数でお答えください。

例) Aさん28時間、Bさん15時間の場合、 $(28+15)/2=21.5$  回答欄:2人、21.5時間

小数点第2位以下四捨五入し記入してください。

人数: \_\_\_\_\_人、勤務時間数平均/週 \_\_\_\_\_時間

1-3-1. 事務職員による補助業務について、下記の項目で実施している項目をお答えください。(複数回答可)

- 処方箋に記載された医薬品の必要量を取り揃える行為
- 薬剤師による監査の前に行う一包化した薬剤の数量の確認行為
- 一包化におけるシートからの取り出し
- 納品された薬剤を調剤室内の棚に納める行為
- 調剤済みの薬剤を患者のお薬カレンダーや院内の配薬カート等へ入れる行為
- 画像を用いてお薬カレンダーを確認する行為
- 先に服薬指導等を薬剤師が行った上で、患者の居宅等に調剤した薬剤を郵送等する行為
- 事務職員に、上記の行為は行わせていない

2. 採用状況に関して

2-1. 薬剤師の新卒採用の有無について、教えてください。

※会社全体で採用を行っている場合は、会社全体の状況を教えてください。

- 1 新卒採用(4月)がある。※通年採用の有無は問わない
- 2 新卒採用はなく、通年採用としている(欠員時に募集するなど)
- 3 その他 ( )

2-2. 2-1で「1 新卒採用がある」と答えた方に御質問します。採用決定(内定)時期を教えてください。

前年度の ( )月くらい

2-3. 薬剤師の採用募集の方法を教えてください。(複数回答可)

※会社全体で採用を行っている場合は、会社全体の状況を教えてください。

- 1 ハローワーク
- 2 民間の一般的な職業紹介(リクナビ等)
- 3 医療系人材の紹介業者
- 4 ファーマファインドJOB
- 5 地元のタウン誌、チラシなど
- 6 薬学系大学での募集
- 7 自施設での募集(HPなど)
- 8 その他 ( )

2-4. 過去3年間(R元~3年度)の薬剤師の採用状況を教えてください。

※会社全体で採用を行っている場合は、薬局の状況を教えてください。

- 1 募集人数をすべて確保できている
- 2 募集人数の一部しか確保できなかった
- 3 募集しても一人も確保できなかった
- 4 募集していない

※赤枠は薬剤師会設問 / 青枠は薬務課設問

2-5、2-4で1又は2と答えた方で、過去3年間（R元～3年度）の合計の採用人数を教えてください。\*

※採用したが、既に退職している方を含まず\*

※会社全体で採用を行っている場合は、**書局に入った人数**を教えてください\*

( )人\*

3、薬局機能について(令和4年4月1日～令和4年9月30日)\*

3-1、1か月の平均処方箋受付回数をお答えください。\*

\_\_\_\_\_枚\*

3-2、処方箋応需の上位3診療科を下記より選んでお答えください\*

① \_\_\_\_\_\*

② \_\_\_\_\_\*

③ \_\_\_\_\_\*

(内科、外科、整形外科、脳神経外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、産婦人科、漢方診療科、ペインクリニック、歯科口腔外科、その他)\*

3-3、地域支援体制加算の届出(令和4年9月30日時点)\*

1 地域支援体制加算 1\*

2 地域支援体制加算 2\*

3 地域支援体制加算 3\*

4 地域支援体制加算 4\*

5 なし\*

3-4、書局で行っている業務又は該当している項目があれば教えてください。(複数回答可)\*

1 健康サポート薬局\*

2 地域連携薬局\*

3 専門医療機関連携薬局\*

4、在宅医療の実施(令和4年4月1日～令和4年9月30日)\*

4-1、期間内に在宅患者訪問薬剤管理指導または居宅療養管理指導の算定はありますか?\*

1 あり→設問4-2以降を回答\*

2 なし→設問4-4以降を回答\*

4-2、患者の居住場所と人数について期間内の実人数をお答えください。\*

① 自宅療養の方 \_\_\_\_\_人\*

② 高齢者施設の方 \_\_\_\_\_人\*

4-3、在宅訪問を行なっている患者/施設と薬局との距離に関して、最長距離と最短距離をお答えください。\*

※距離は、地図上の直線距離で小数点以下切り捨ての整数値でお答えください。\*

① 自宅療養の方 最短距離 \_\_\_\_\_km 最長距離 \_\_\_\_\_km\*

② 高齢者施設の方 最短距離 \_\_\_\_\_km 最長距離 \_\_\_\_\_km\*

4-4、現在の薬局の人員で、日常業務への支障がなく訪問を行える患者/施設までの距離をお答えください。\*

※距離は、地図上の直線距離で小数点以下切り捨ての整数値でお答えください。\*

対応可能な患者/施設までの距離 \_\_\_\_\_km\*

5、現時点での充足状況について(令和4年9月30日時点)\*

5-1、現時点での業務量に対して薬剤師の人数は充足していると言えますか?\*

1 不足しており、通常業務の実施にも負担がかかっている →設問5-2以降を回答\*

2 通常業務に支障をきたすほどではないが、業務の充実化が図れない、\*

欠員補充に苦勞するなど不足気味である →設問5-2以降を回答\*

3 充足している →設問6以降を回答\*

5-2、どの程度の人員の確保ができれば充足するか、1週間の必要時間数をお答えください。\*

例) 月曜日の午前中に2人3時間勤務必要 2×3時間=6時間

水曜日の午後に1人4時間勤務必要 1×4時間=4時間

金曜日に1日1人8時間勤務、午前1人4時間勤務必要 1×8時間+1×4時間=12時間

6+4+12=22時間/週 回答22\*

回答 \_\_\_\_\_時間\*

6、今後の充足状況について\*

6-1、今後の対人業務の拡充を見据えて、自薬局でどのような業務拡大を行うべきとお考えですか。該当するものにチェックしてください。(複数回答可)\*

【個別報酬関係】\*

地域支援体制加算 1\*

地域支援体制加算 2\*

地域支援体制加算 3\*

地域支援体制加算 4\*

【その他】\*

地域連携薬局の認定申請\*

専門医療機関連携薬局の認定申請\*

健康サポート薬局の認定申請\*

健康エキスパート薬剤師の拡充\*

在宅業務の拡充\*

その他 \_\_\_\_\_\*

業務拡大の必要はない\*

6-2、「業務拡大を行うべき」とお考えの場合、現時点(令和4年9月30日時点)で薬剤師の人数は充足していると言えますか?\*

1 はい→設問7以降を回答\*

2 いいえ→設問6-3以降を回答\*

※赤枠は薬剤師会設問／青枠は薬務課設問

6-3、どの程度の人員の確保ができれば希望する業務拡大を行えるか、1週間の必要時間数でお答えください。

例) 月曜日の午前に2人3時間勤務必要 2×3時間=6時間

水曜日の午後に1人4時間勤務必要 1×4時間=4時間

金曜日に1日1人8時間勤務、午前1人4時間勤務必要 1×8時間+1×4時間=12時間

6+4+12=22時間/週 回答:22

回答 \_\_\_\_\_ 時間

7、薬局における薬剤師確保でお困りのことがあればご記入ください。

Text input area for question 7.

8、県内の薬剤師確保に向け、山口県（薬務課）に期待する取組を教えてください。（複数回答可）

- 1 県内就職者に対する経済的支援（奨学金の返還補助など）
- 2 就職希望者とのマッチング支援（就職説明会の開催や専門窓口の設置など）
- 3 卒後研修プログラム充実化（集合研修、eラーニング、他局・病院研修など）
- 4 若手薬剤師の交流の場づくり
- 5 薬学生向けの広報（リーフレットの作成、HPでの広報、大学への働きかけなど）
- 6 その他（ \_\_\_\_\_ ）

9、山口県（薬務課）の薬剤師確保について御感想、御意見等ありましたら、ご記入ください。

Text input area for question 9.

調査は以上となります。

調査へのご協力、誠にありがとうございます。

※赤枠は薬剤師会設問／青枠は薬務課設問

# 薬局業務と薬剤師充足状況に関するアンケート調査

地域薬剤師会	岩国	柳井	光	下松	徳山	新南陽	防府	山口
回答薬局	73	32	25	32	51	15	38	50

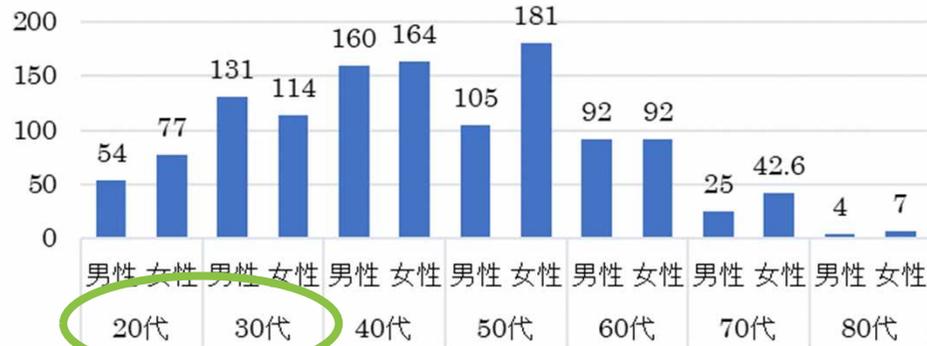
地域薬剤師会	吉南	宇部	山陽小野田	下関	美祢	長門	萩	不明
回答薬局	26	80	40	125	10	16	30	5

回答数：648件（会員薬局738件中）

回答率：**87.8%**

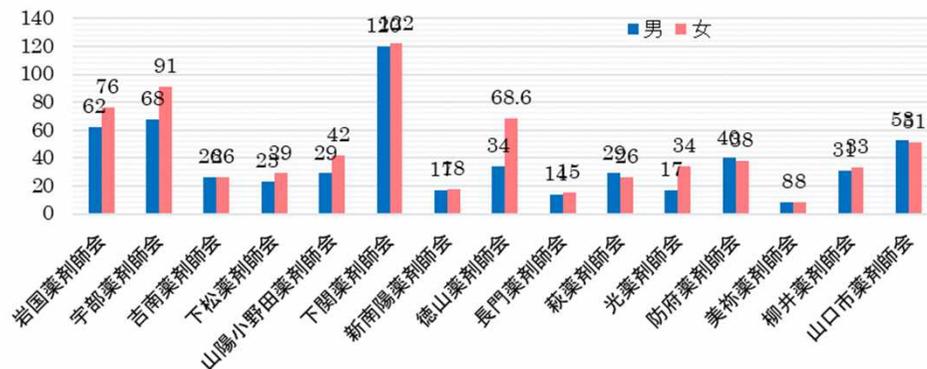
1-1. 勤務している常勤薬剤師の人数と平均勤務時間（週あたり）

常勤薬剤師の人数（県全体）

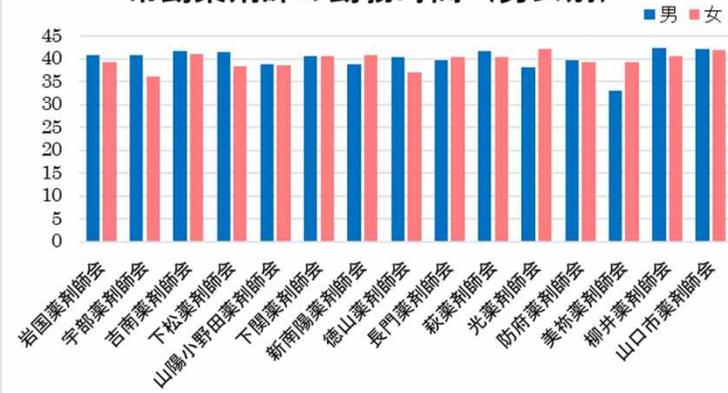


20代・30代の薬剤師数が少なく、20年後の地域医療体制維持が懸念され、若手世代の薬剤師確保が特に重要と考えられる。

常勤薬剤師の人数（男女別）



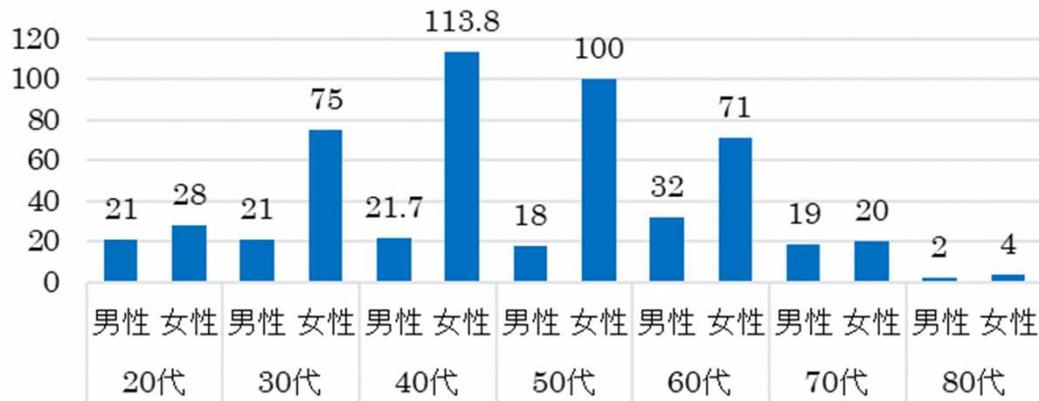
常勤薬剤師の勤務時間（男女別）



県内の常勤薬剤師の男女差、勤務時間はほぼ同程度である。人口動態に応じる形で、地域間で薬剤師の人数に差が生じる。

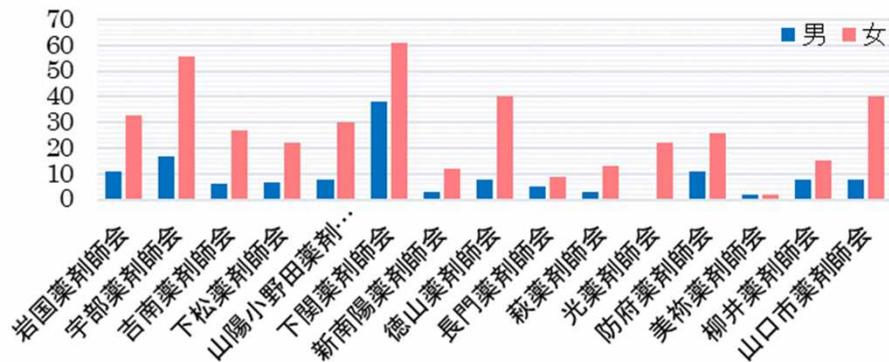
## 1-2. 勤務している非常勤薬剤師の人数と平均勤務時間（週あたり）

### 非常勤薬剤師の人数（県全体）

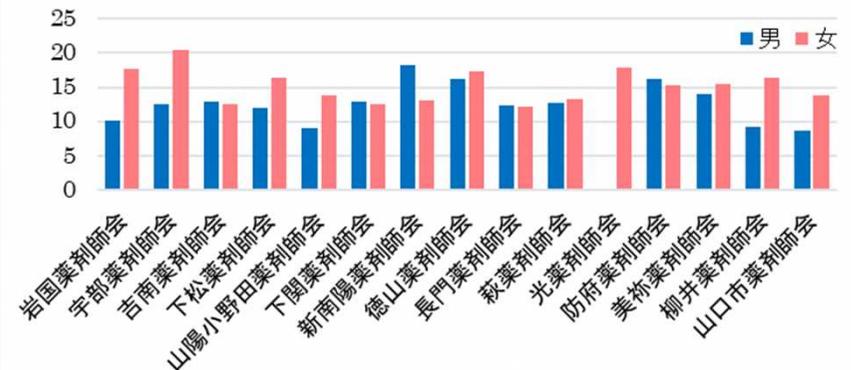


**非常勤薬剤師は**予測された通り30代～60代まで**女性比率が高い**。20代の男女、40代～60代男性の多くは、複数店舗兼務者と推測される。**週あたりの勤務時間は15時間前後**と地域差もなく一定である。

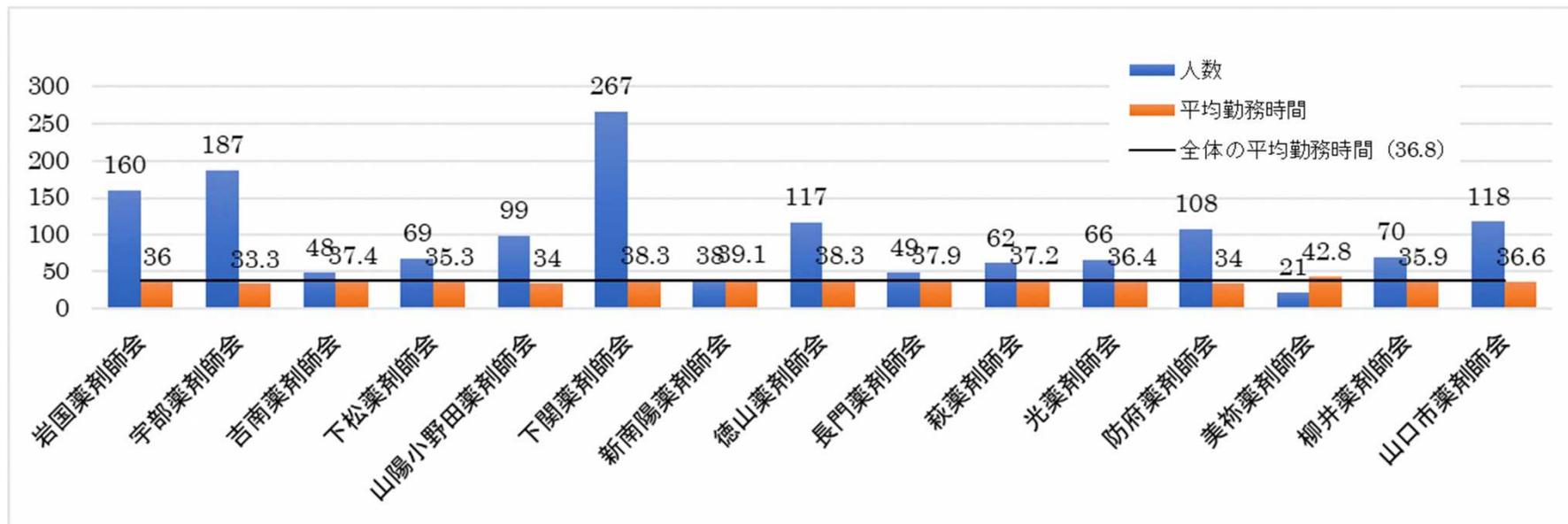
### 非常勤薬剤師の人数（男女別）



### 非常勤薬剤師の勤務時間（男女別）



### 1-3. 勤務している事務職員の人数と1週間の平均勤務時間（週あたり）

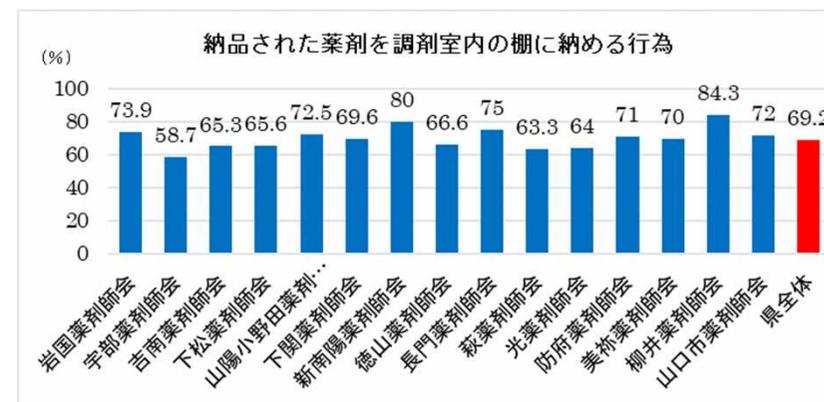
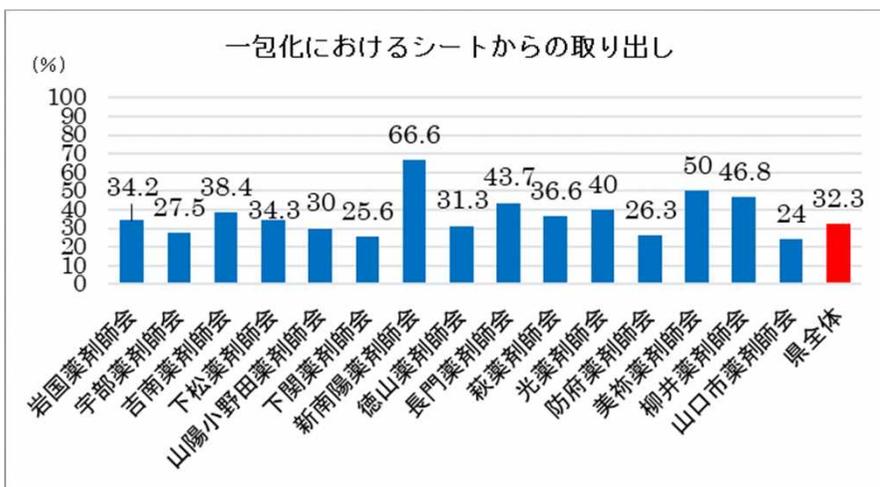
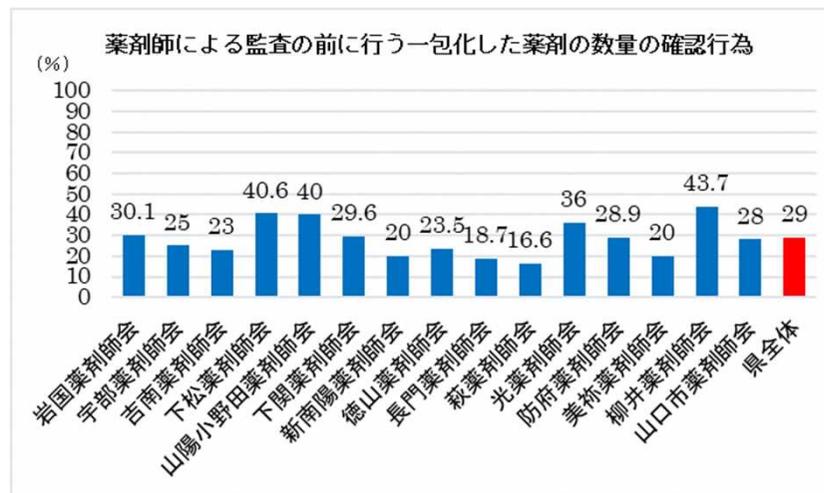
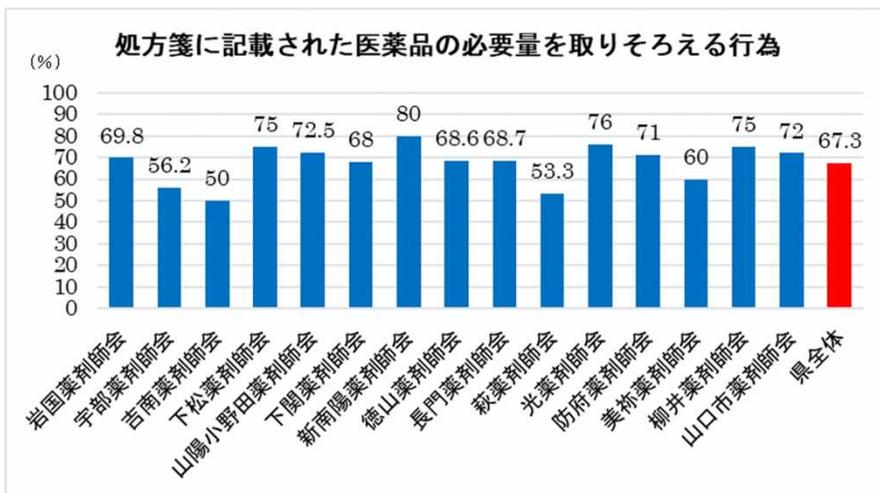


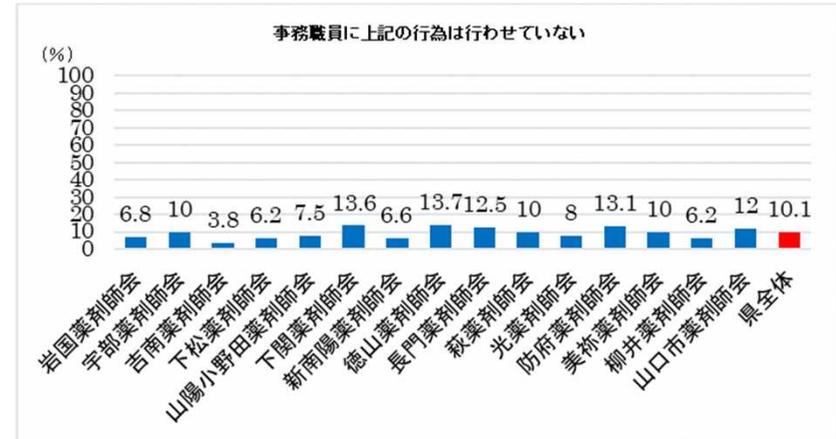
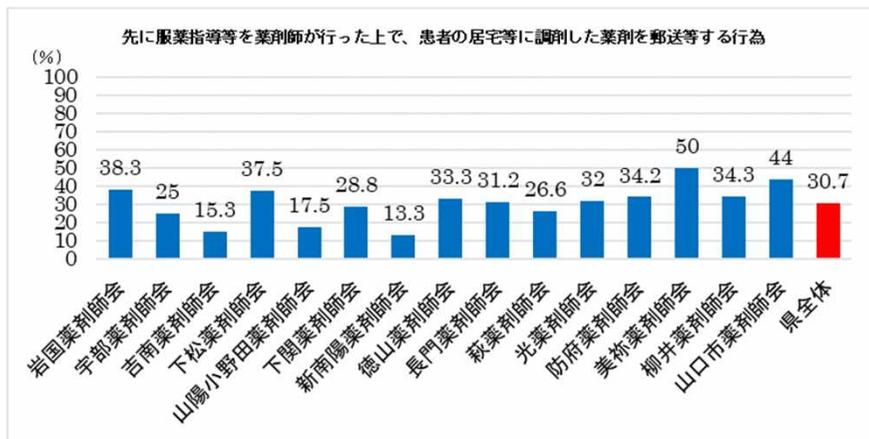
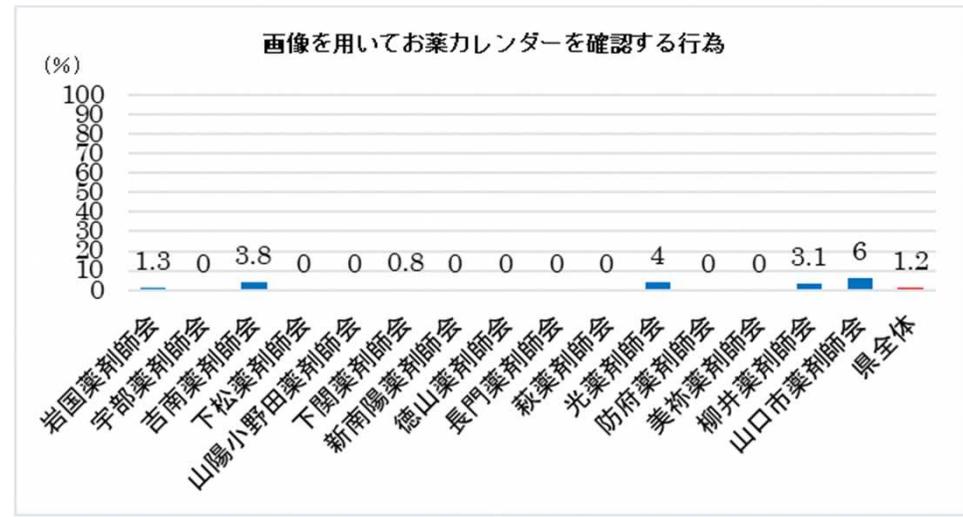
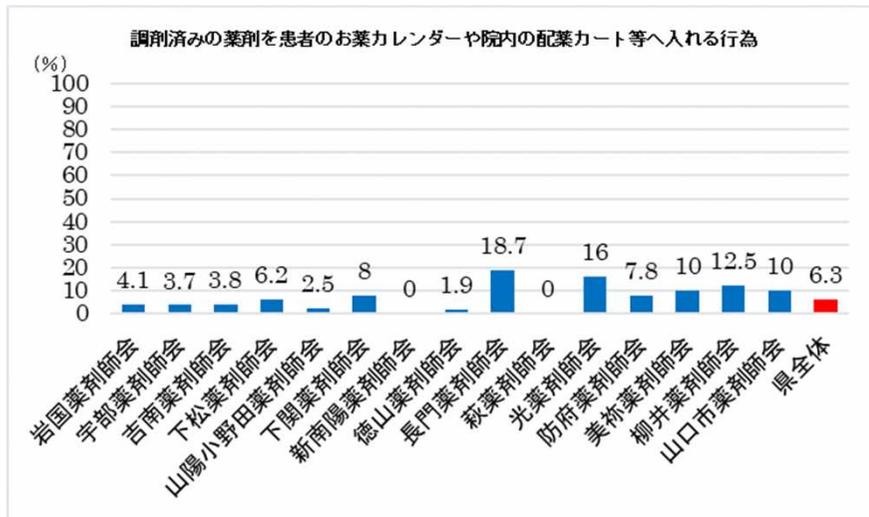
地域薬剤師会	岩国	柳井	光	下松	徳山	新南陽	防府	山口
事務職員平均人数	2.1	2.1	2.6	2.1	2.2	2.5	2.8	2.3

地域薬剤師会	吉南	宇部	山陽小野田	下関	美祢	長門	萩
事務職員平均人数	1.8	2.3	2.4	2.1	2.1	3	2.1

薬局に勤務する**事務局員の平均人数**は県内で**2.3人**となり、概ね全地域同様の人数となった。勤務時間の平均も36.8時間となり、地域差は特に認められない。

1-3-1. 事務職員による補助業務について下記の項目で実施している項目をお答えください  
(有効回答数597件)

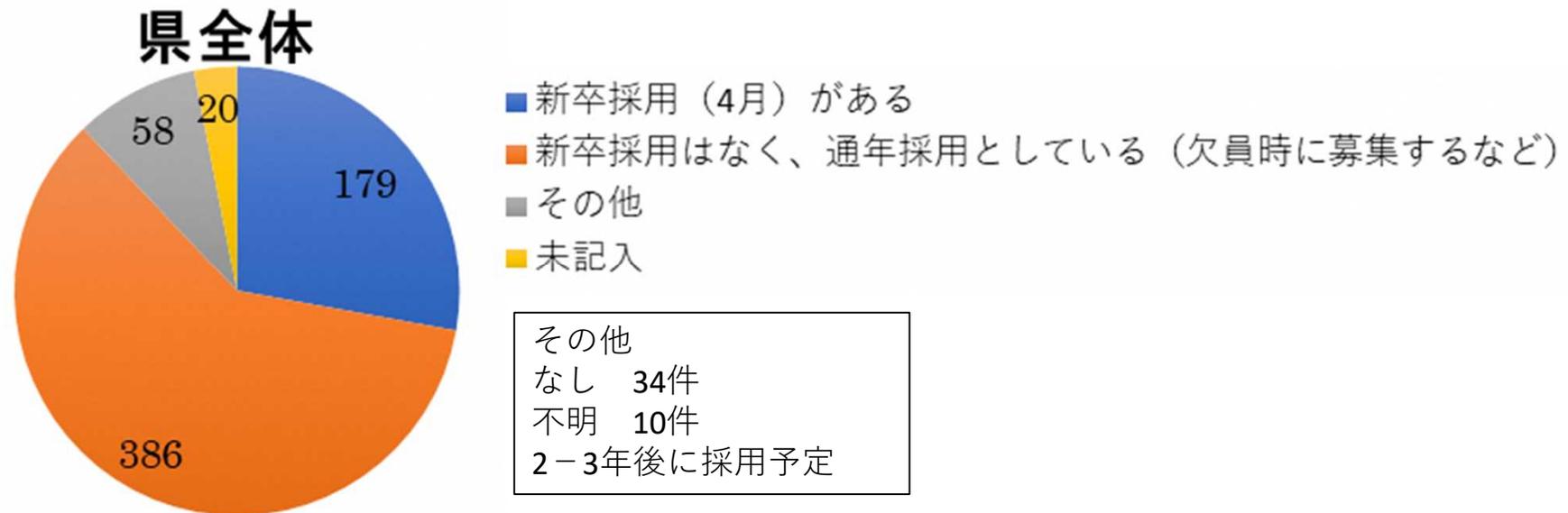




事務職員による補助業務として、納品補助（7割程度）、医薬品の取り揃え（6割程度）を行う薬局が多いが、一包化の補助（4割程度）、在宅業務の補助である服薬カレンダーへの配薬、確認は低い水準であった。また、調剤補助業務を一切行わない薬局も1割程度あることがわかる。

## 2. 採用状況に関して

### 2-1. 薬剤師の新卒採用の有無（有効回答数623件）



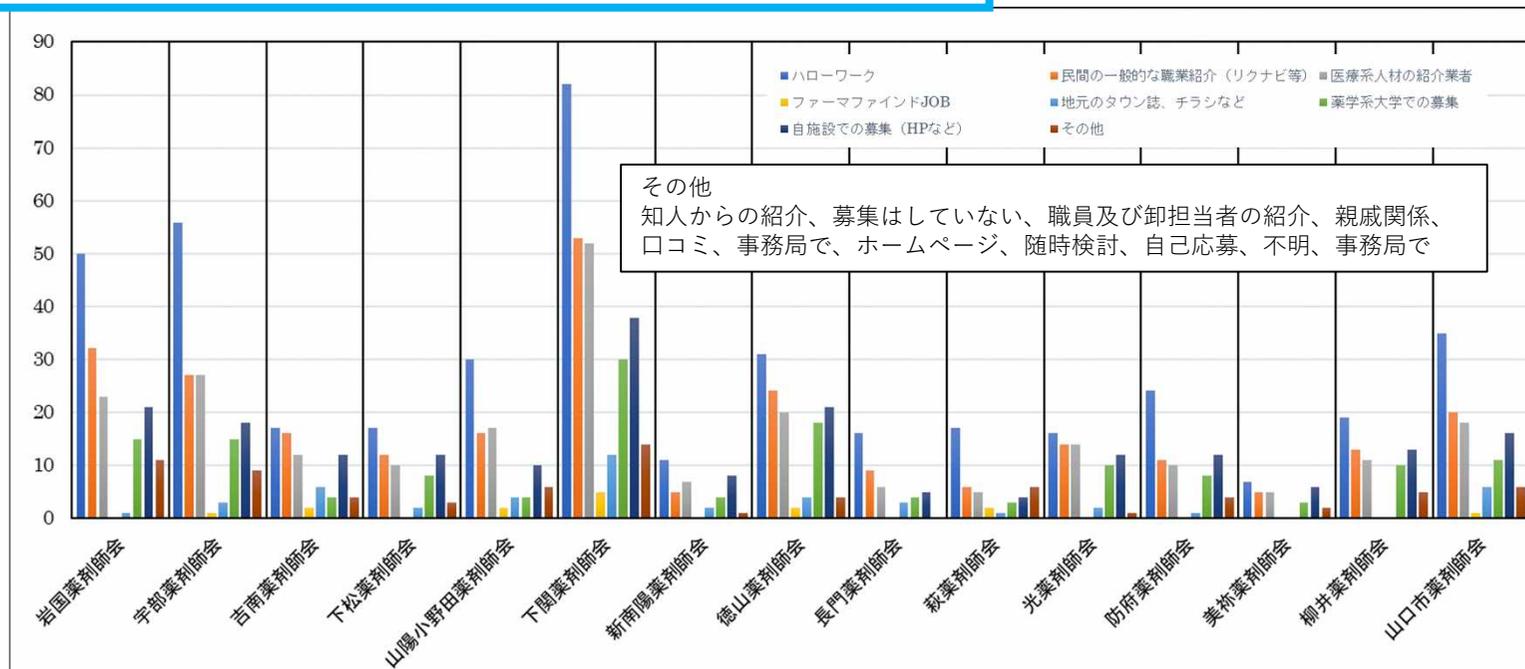
### 2-2. 2-1で「新卒採用がある」と答えた方、採用決定（内定）時期（有効回答数133件）

1月(1件)、2月(3件)、3月(8件)、4月(6件)、5月(4件)、6月(27件)、7月(7件)、8月(19件)、9月(6件)、10月(29件)、11月(2件)、12月(7件)

4-5月(2件)、6-7月(3件)、5-9月(1件)、11-3月(1件)、7-12月(1件)、不明(5件)

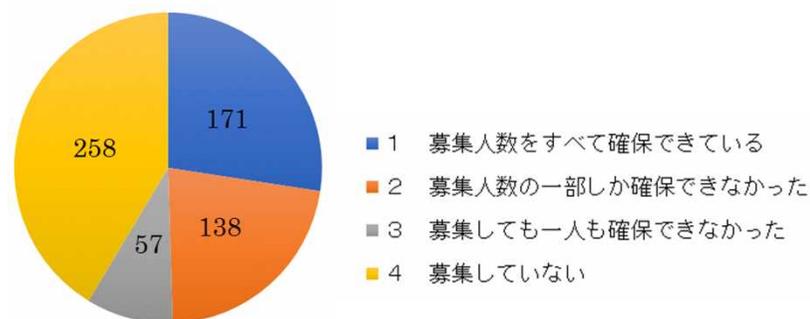
多くの薬局で採用予定はあるものの、新卒者問わず欠員時の補充など随時採用とする薬局が多いことがわかる。新卒採用予定のある薬局も、内定時期も様々で、離退職の状況に応じて次年度の計画を立てるなどの理由で一律ではないことが伺える。

### 2-3 薬剤師の採用募集の方法（有効回答数614件）



### 2-4. 過去3年間（R元～3年度）の薬剤師の採用状況を教えてください。（有効回答数624件）

県全体



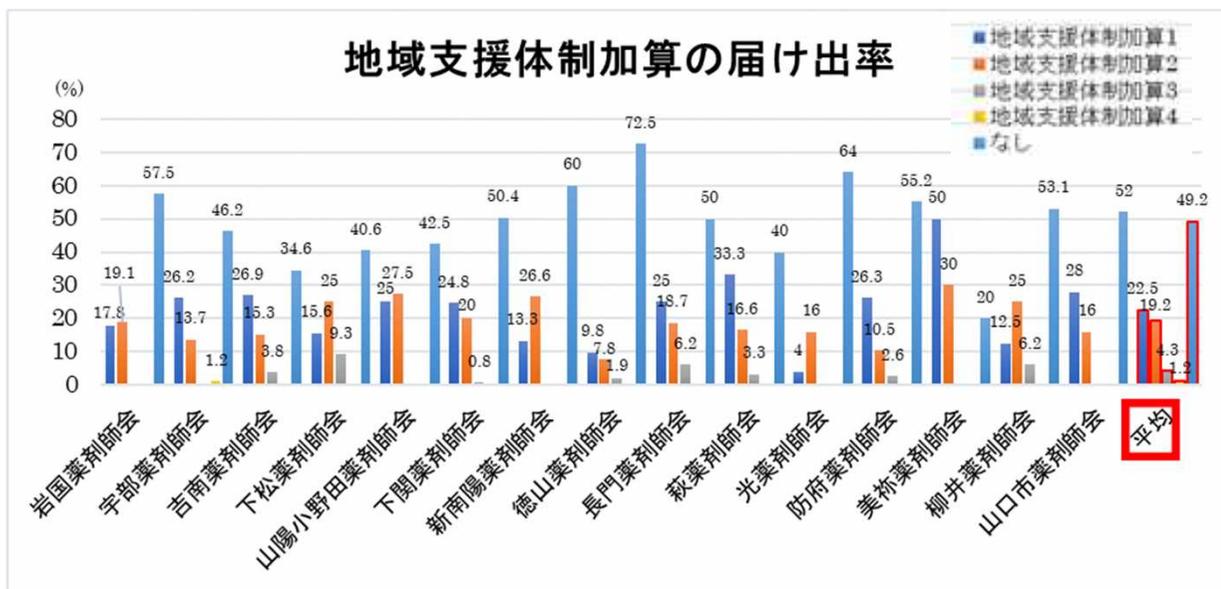
薬剤師確保には、ハローワークや、民間仲介業者の利用が多い。しかし、募集に対して薬剤師確保ができていない薬局もあるため、県薬で取り組んでいるファーマファインドJOBの利用促進が必要と考えられる。

### 2-5. 2-4で1又は2と答えた方、過去3年間（R元～3年度）の合計の採用人数（有効回答数276件）

平均値 2.18人

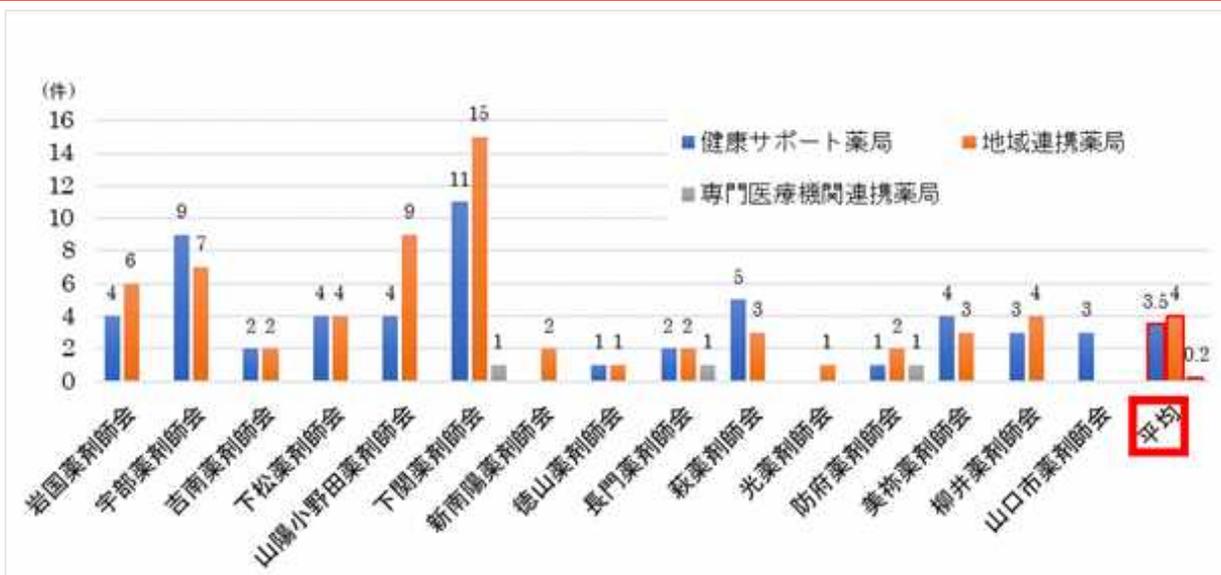


### 3-3. 地域支援体制加算の届け出 (R4年9月30日時点) (有効回答数598)



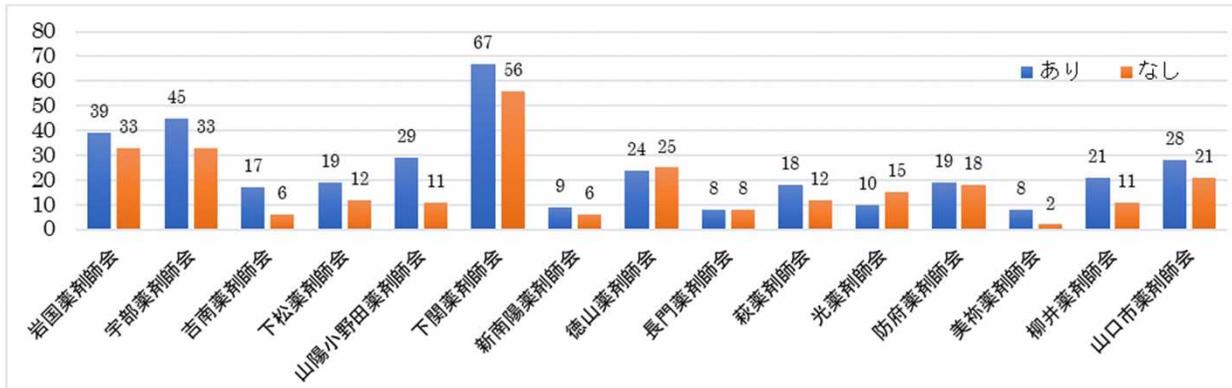
全体の5割近くの薬局で地域支援体制加算の算定が行えていない。業務拡大、採用枠拡充も必要と推察される。

### 3-4. 貴局で行っている業務又は該当している項目 (有効回答数643件)



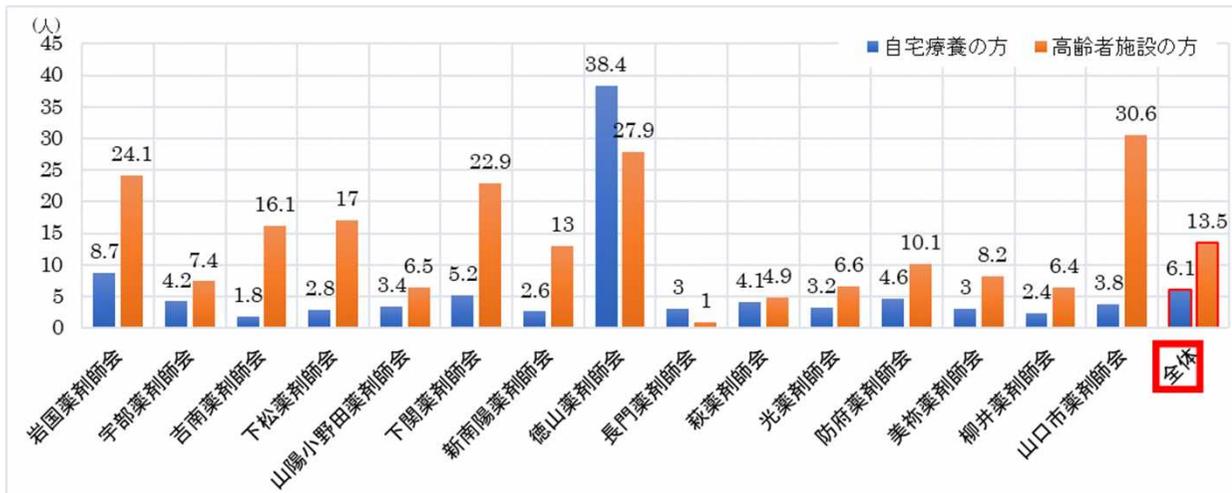
#### 4. 在宅医療の実施（R4年4月1日～R4年9月30日）

##### 4-1. 期間内の在宅患者訪問薬剤管理指導または居宅療養管理指導の算定の有無（有効回答数630件）

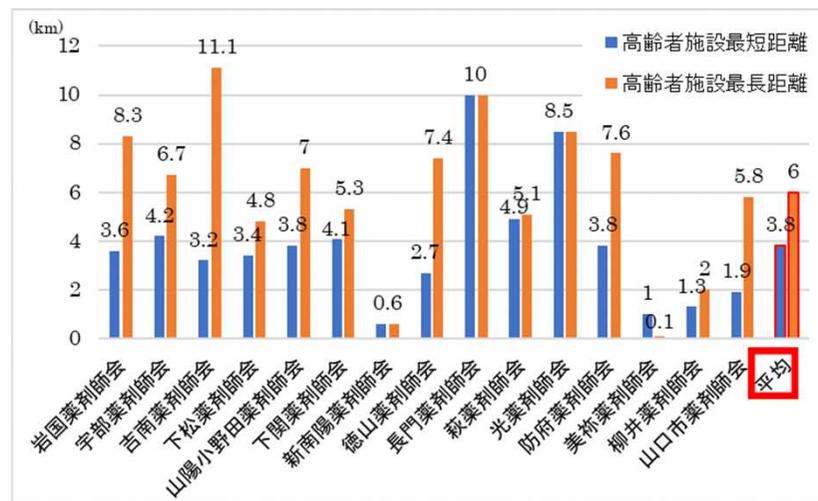
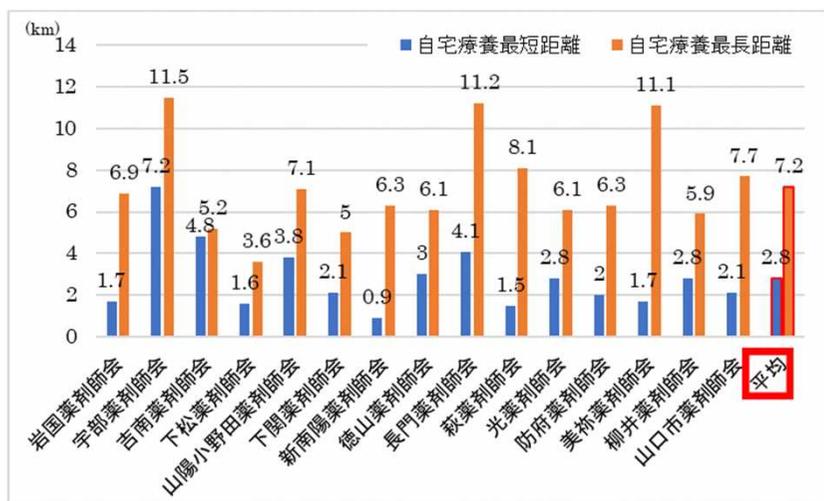


算定あり 361薬局  
 算定なし 269薬局  
 算定率 57.3%

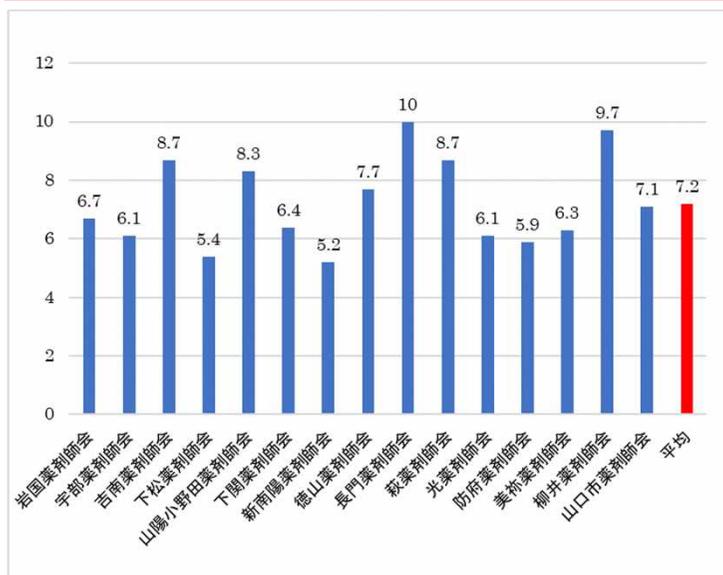
##### 4-2. 患者の居住場所と人数について期間内の実人数の平均（有効回答数342件）



4-2. 在宅訪問を行っている患家／施設と薬局との距離に関して、  
最長距離と最短距離（有効回答数336件）



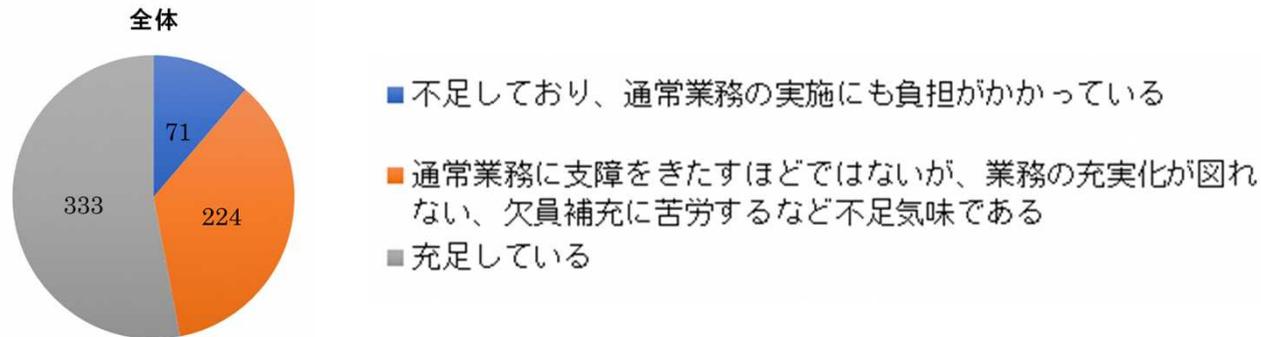
4-3. 現在の薬局の人員で、日常業務への支障がなく訪問を行える患家／施設までの距離  
（有効回答数515件）



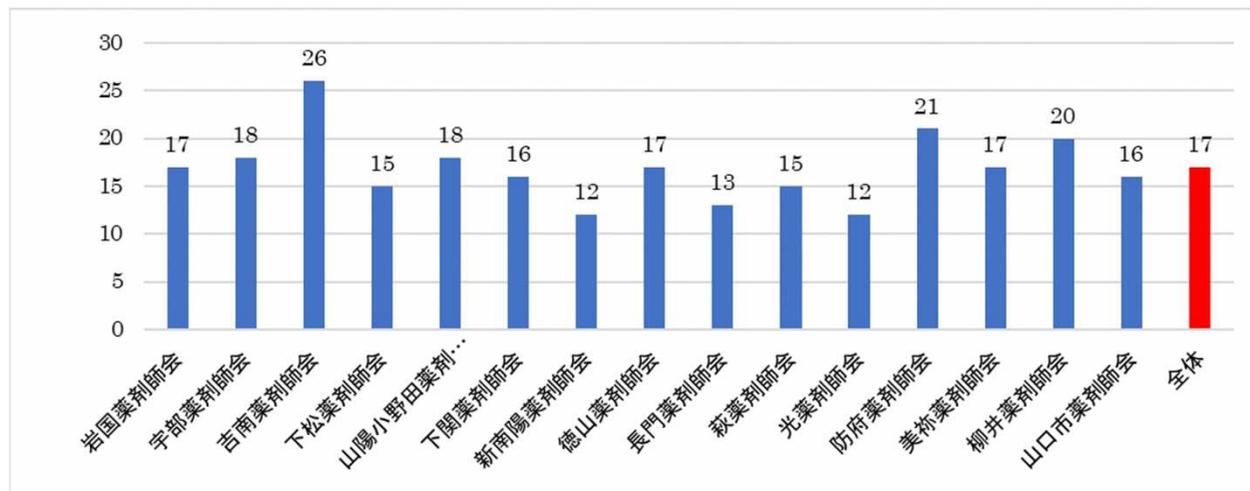
在宅業務を行う薬局は、全体の半数以上となっている。訪問先、人数ともに自宅療養者より高齢者施設入所者の方が多い傾向にある。療養先までの距離は、自宅、高齢施設に大きな差はなく、**日常業務に支障をきたさない距離の平均値7.2 km**と相違がない結果となった。

## 5. 現時点での充足状況について（R4年9月30日時点）

### 5-1. 現時点での業務量に対して薬剤師の人数は充足しているか（有効回答数628件）



### 5-2. どの程度の人員の確保ができれば充足するか、1週間の必要時間数の平均（有効回答数278件）



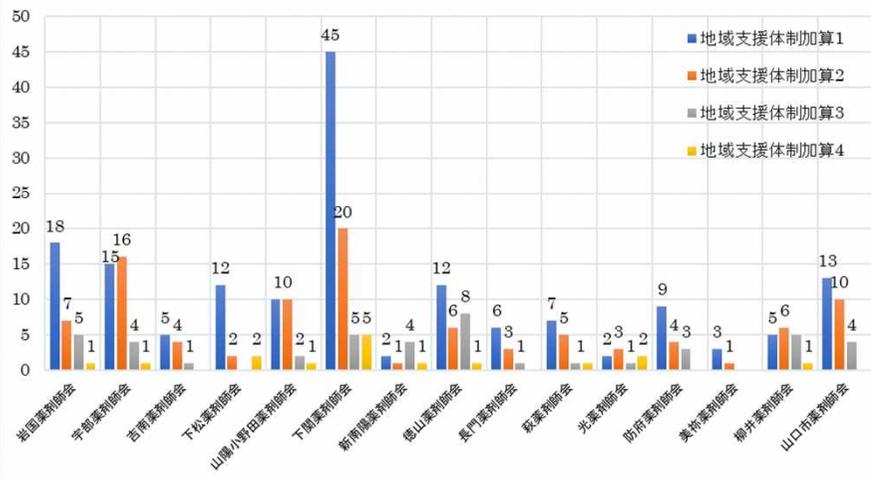
現時点の状況として、薬剤師の不足もしくは不足気味と回答している薬局が半数近くあり、**補充の必要な人員**としては、**1週間平均で17時間**となり、常勤薬剤師の補充よりも、必要な時間帯に非常勤薬剤師の補充を求める薬局が多いと言える。

## 6. 今後の充足状況について

### 6-1.

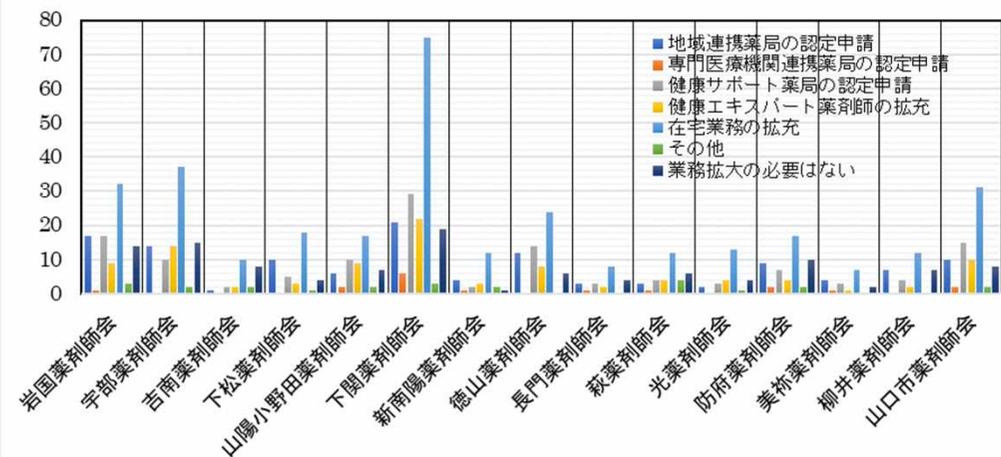
今後の対人業務の拡充を見据えて、自薬局でどのような業務拡大を行うべきと考えているか  
(有効回答数580件)

調剤報酬関係



業務拡大により地域支援体制加算の新規届け出、加算1から加算2への転換を行う必要があると考えている薬局が多く、そのために在宅業務の拡充の必要性が挙げられる。

その他

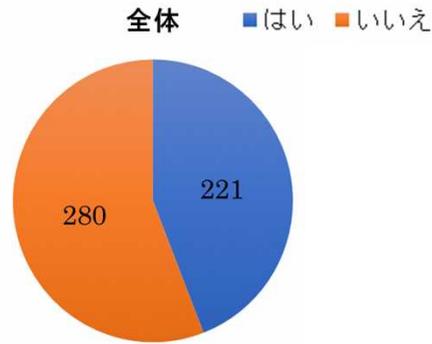


その他

オンラインの拡充、かかりつけ薬局・薬剤師、スマイルエイジング薬局、OTCの拡大、新規在宅患者の獲得、SNS発信、広域処方箋受付拡充、後発医薬品体制加算、ほかの市や薬剤師会との連携

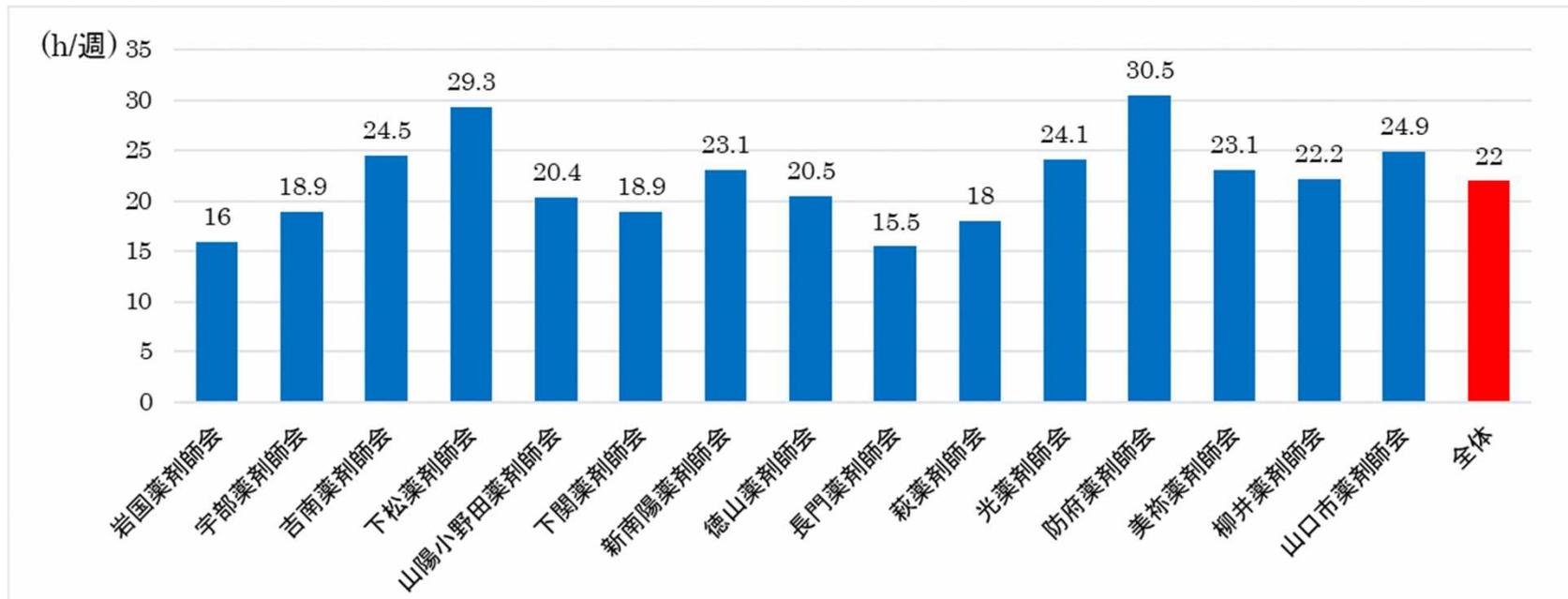
本部の意向による、業務拡大が難しい、業務拡大は検討中、開局したばかりでこれから考えたい、廃業予定

6-2. 「業務拡大を行うべき」と考えている場合、  
R4年9月30日時点で薬剤師の人数は充足しているか（有効回答数501件）



**業務拡大を行う場合**は、薬剤師が不足すると回答した薬局が半数を超えた。**必要な人数**も**1週間当たり22時間**となり、現時点での必要人員の17時間より5時間増加する結果となった。

6-3. どの程度の人員の確保ができれば希望する業務拡大を行えるか、  
1週間の必要時間数の平均（有効回答数279件）

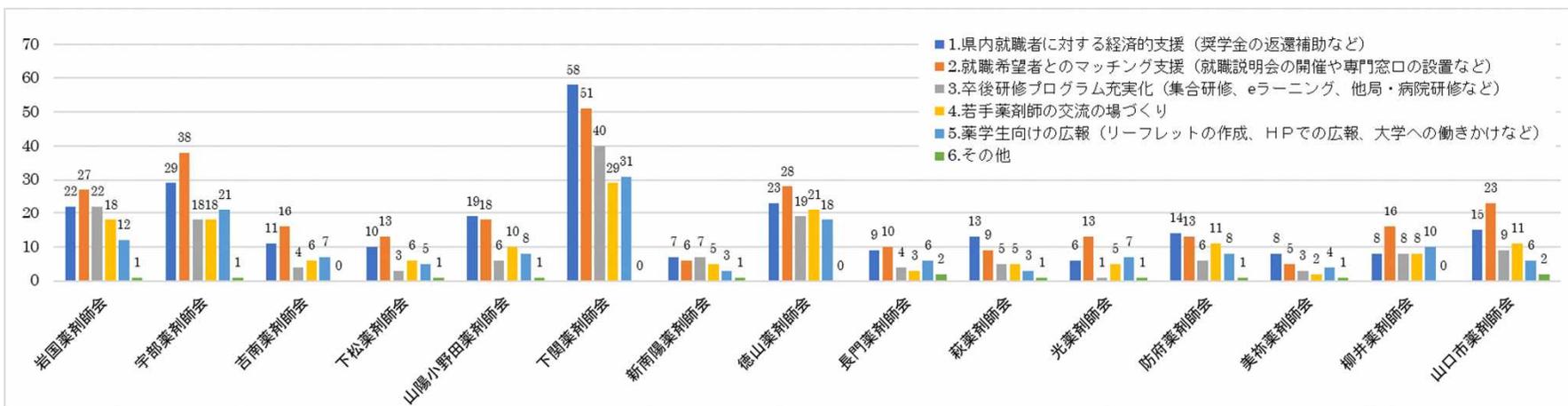


## 7. 薬局における薬剤師確保でお困りのこと

紹介業者手数料が高い (23件)  
 人員は確保できているがコストが高く運営を圧迫している (14件)  
 高額な人件費・薬剤師の高齢化  
 人員確保のためのコストが高い・スキル不足・有給休暇の確保が難しい  
 人員不足 (19件)  
 募集をかけても人が来ない (15件)  
 若手の薬剤師が少ない (6件)  
 山口県で就職を希望する人が少ない (5件)  
 採用自体が本社のため人材の選出が薬局でできない  
 通勤時の交通手段 (4件)  
 時短者のフォローを行う者の負担の増大 (3件)  
 産休への対応、薬剤師確保の方法がわからないなどその他 (31件)  
 産休育休後の薬剤師とのコミュニケーション  
 在宅対応 (7件)  
 時間外対応 (2件)  
 施設対応

調査結果、本自由記載からも、  
 人員不足、薬剤師確保の重要性  
 が示されているが、採用コスト  
 解消、就業希望薬剤師とのマッ  
 チングなどに取り組む必要があ  
 ることがわかる。

## 8. 県内の薬剤師確保に向け、山口県（薬務課）に期待する取り組み（有効回答数511件）

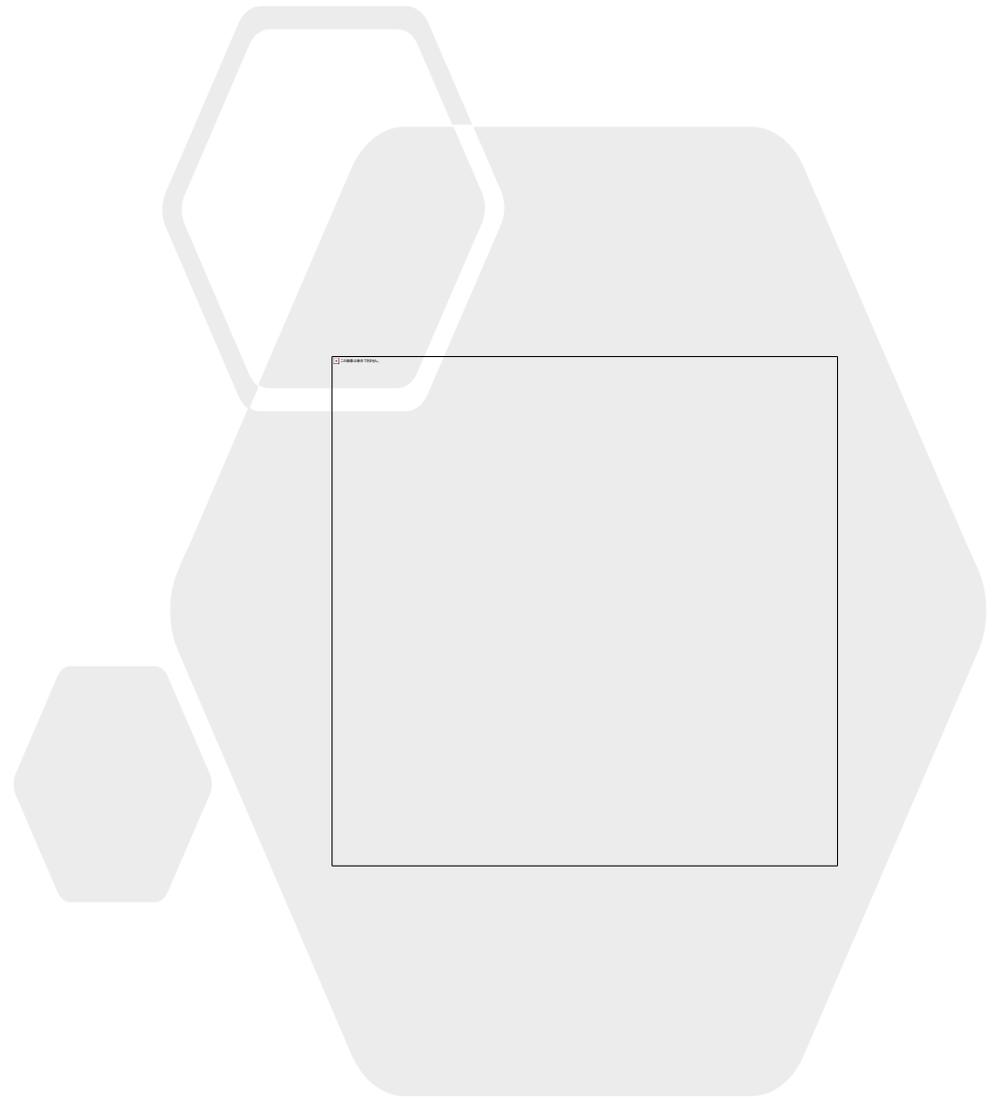


## 9. 山口県（薬務課）の薬剤師確保について御感想、御意見等

- 県を通してマッピング支援をして頂ければ薬剤師が不足している地域でも助かります。
- 山口東京理科大学の薬学部新卒が県内にどれだけ残るか、この数年が勝負だと思います。
- 山口県は薬剤師が比較的少ない地域にはなりますが、周りの広島県や福岡県が余ってくれば今後は山口県も充足してくると思うので今度は薬剤師一人一人の素質や医療チームとして薬剤師が必要とされるように仲間には入れるような対策を是非お願いします。
- この度、山口東京理科大学に薬学部が創設されたことに大きな意義を感じております。薬剤師数が充足することにより、採用費用などのコストカットが見込めるため、より健全な運営、地域貢献に努めていけるきっかけとなります。
- 経済的支援及び労働環境の改善は必須。この二点を改善できなければ必然的に年収の良いor After 5の充実している環境へ人は流れる。
- 一薬局が確保するよりも、県または支部単位が窓口になり就職を希望する人の相談、紹介業務を担当してもらいたい。窓口が公的であればある意味信頼にもつながると思います。
- 新卒は岩国市内では岩国医療センター、大手チェーン薬局に入り、そこで挫折して(?)小さな薬局に入りなおすケースが多いですが、そういう人はなかなか扱いにくいですね。
- 実際に薬局で調剤業務を行ってみられると今の薬局の現状がよく分かって頂けるかと存じます。
- 県外に進学や就職で出た方に、地元で働こうという働きかけ(アピール)を何かしらしていただければと思います。
- 新卒者や若手薬剤師を対象とした薬剤師確保施策だけでなく、転職希望者や定年退職者が従来従事していなかった業務に安心して就けるように研修機会の確保並びに再教育プログラをより充実させていただきたい。
- いつもありがとうございます
- 今後、どのような活動を行っているか自局にも共有いただきたいです。
- 募集サイトを見ると、田舎だからと思うが、高給設定で、競争により、さらに、給料の上昇が見うけられる。徐々に薬局経営が難しくなってくると思う。
- 何をしているかわからない。
- 情報が少ない県外からの採用はリスクが大きい。山口理科大ができて情報が入りやすくなったが、地域定着就職には無理がある。山口県をもっと魅力的な街にしてほしい。
- OTC教育もしっかりして頂きたいです。患者が服用しているOTCや健康食品に対して全て否定するのではなく、専門家として良し悪しを見極めてアドバイスできる力も必要ではないでしょうか。
- 山口県として理科大薬学部以外に、薬学部がもう1つ2つ出来れば県内の薬剤師確保ももう少し容易になるかもしれません。
- 開設を希望する勤務薬剤師の独立支援と後継者不在の薬局とのマッピング支援が必要。

- 実習薬学生をなるべくたくさん受け入れるようにする。そして、県内に就職するように勧める。
- 行政に薬剤師確保の業務には無理があり、本来の任務ではないと思います。地域連携や専門連携薬局等、リーダーになるべき薬局のサポートをすることのほうが地域のためになるかと思います。
- 各門前に薬局があり、一薬局の人数が少ないため確保するにも条件付（パートetc）になるため、さらに難しく、かといって、解決策はない？
- 関西地方の大学出身者の経験から、特に薬局は全国チェーンではない場合あまり情報が入ってくることはなかったように思います。また、隣接県以外の大学は、薬局実習は山口県でする場合が少なく、そうなると繋がりも持てないため、広島や福岡だけでなく、関西圏等の大学にももっと情報を拡散したり、合同説明会等に参加したりがあっても良いかなと思われます。
- Uターン希望の薬学生には、優遇される制度があればと思います。
- 山口東京理科大学に置かれましては、県内就職の比率を高めてほしいです。Ex:山口大学の医学部へ地域枠で入学されても、大半の方が卒業されたら県外へ流出している。
- 当薬局は週に2日（火・木）しか開局していません。業務拡大を検討するアンケートには十分に期待に添える回答ができません。申し訳ございません。
- アンケートが長すぎて複雑すぎる
- 求人の窓口になっていただきたい。是非、就職説明会の開催や専門窓口の設置をお願いします。
- 薬剤師がIターン、Uターン就職しやすいように、行政（市町）と連携した定住のための支援（例えば、家賃補助など）もあっていいかなと思う
- 薬局を助けてほしいが、助けを求めても。逆につぶそうとしているようなことばかりが、目の前に問題として起こり、どうしようもない中を何とかしのいでいる状況です
- どんな活動しているかわからない薬務課だけの活動ではなく、理科大の学生が山口県に定着するような魅力ある県にして頂きたい
- 年々薬剤師の数は増えており薬剤師確保の施策は必要ないと思います。
- 県中での働くことの魅力を作り、しっかりアピールしてほしい。Iターン、Uターン等の希望者が増えることを期待しています。
- 薬剤師は慢性的に不足しているイメージがあります。円滑に仕事が進むために十分な人材を確保できたらよいかと思います。
- 大体、求人は会社として求めることが多いと思われるが、上述したように、経営者（上層部）はあまり努力している感じが無い。従業員が直に求人できる機会（サイト）などを設けて、斡旋して欲しいところである。また、新卒の方はスキルアップや安定を考えられて、大手を希望されることが多い。小さい会社でもこの点の希望をかなえられるような、会社をまたいだ、流動性のある研修、雇用体制を整えれば、幾分改善されるのではと思う。

在宅対応可能エリア（距離）と  
統計データとの相関関係



## 手順①

調査項目から、薬局名、住所、必要項目（在宅対応可能エリアを抽出）など、必要項目をExcel（xlsxファイル）にまとめ、距離別にファイルを用意する。

	A	B	C	D
1	薬局名	住所	対応可能エリア	
2	1		1km	
3	2		1km	
4	3		1km	
5	4		1km	
6	5		1km	
7	6		1km	
8	7		1km	
9	8		1km	
10	9		1km	
11	10		1km	
12				

	A	B	C	D
1	薬局名	住所	対応可能エリア	
2	1		5km	
3	2		5km	
4	3		5km	
5	4		5km	
6	5		5km	
7	6		5km	
8	7		5km	
9				

	A	B	C	D
1	薬局名	住所	対応可能エリア	
2	1		10km	
3	2		10km	
4	3		10km	
5	4		10km	
6	5		10km	
7	6		10km	
8	7		10km	
9	8		10km	
10	9		10km	
11	10		10km	
12	11		10km	
13				

## 手順②

e-Stat（政府統計の総合窓口） → j-STAT MAP使用

- ・ 手順①で作成したエクセルデータを住所地にプロットする。
- ・ 在宅対応可能エリア（距離）の半円をインポートする。
- ・ 政府統計データより、過疎地の割り出しを行い支援が必要なエリアを抽出する。

### 統計データ

国勢調査 2020年

集計単位：小地区（町丁・字など）

集計範囲：行政界単位

### 統計表

男女別人口総数及び世帯総数

世帯の家族類型別一般世帯数

世帯人員別一般世帯数

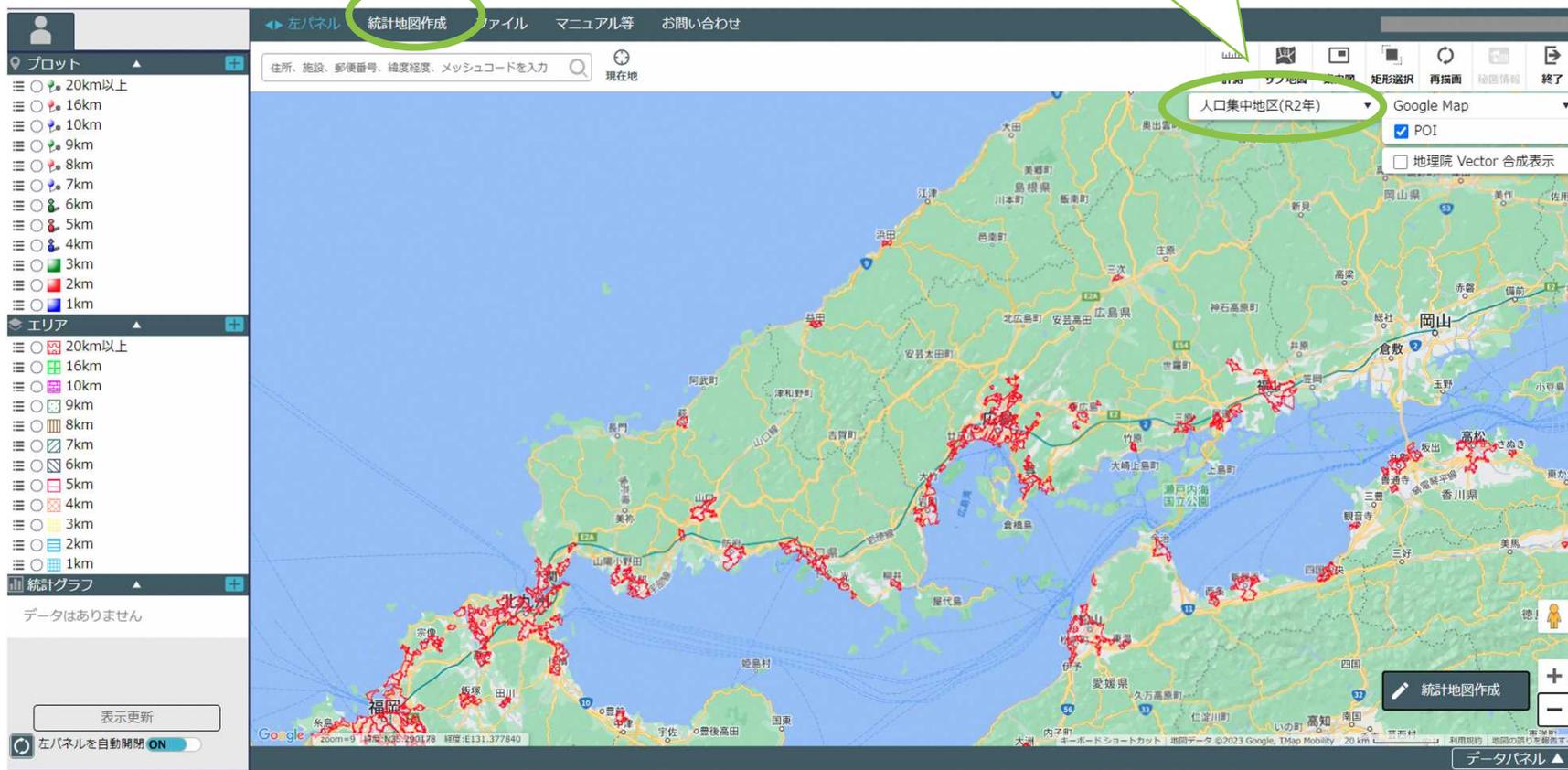
人口性比、密度

．．．．等多数の統計データが使用可能

# 基本画面

- ・プロット作成
  - ・エリア作成
  - ・統計グラフ作成
  - ・レポート作成
- はこちらから

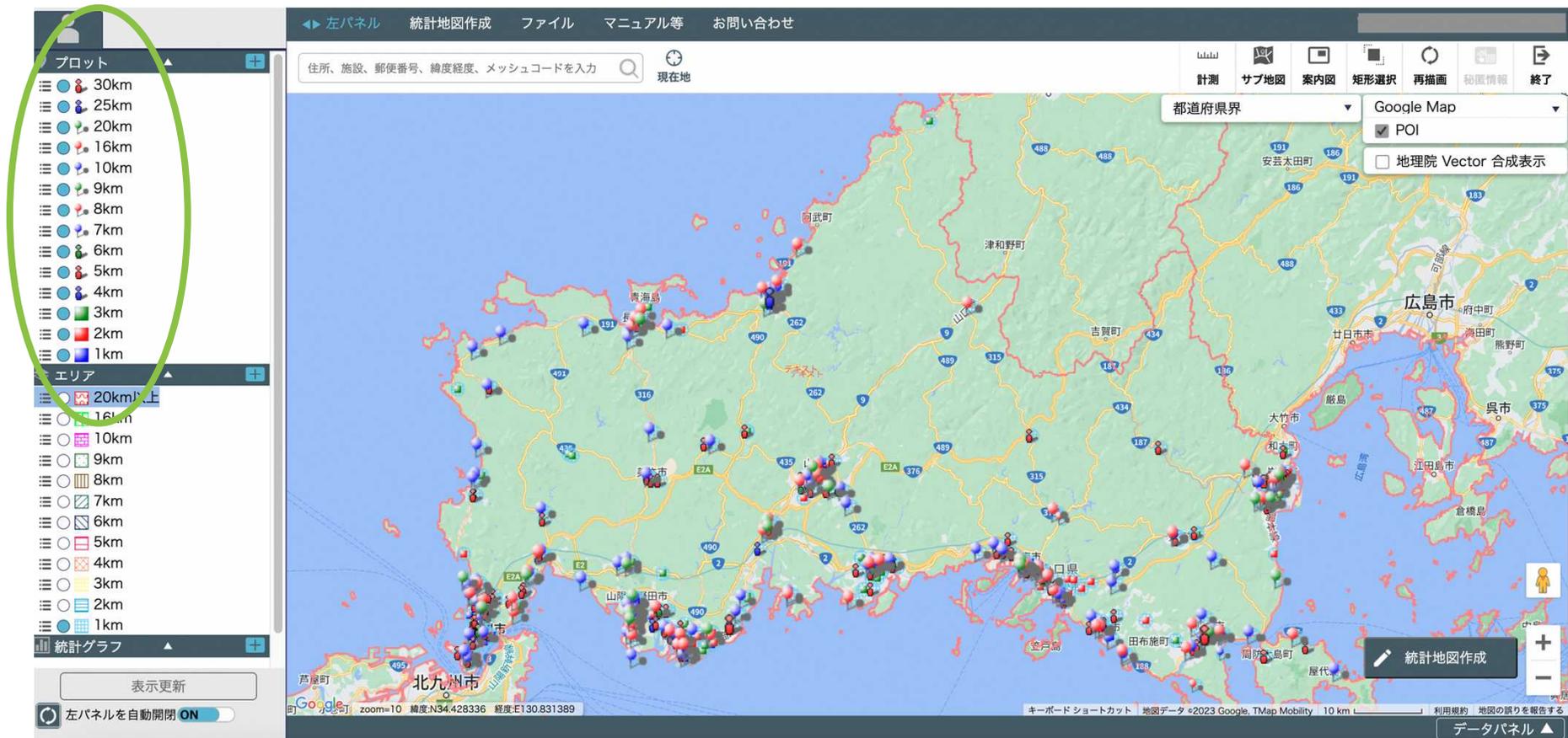
- ### 境界線選択
- ・都道府県境
  - ・市区町村境
  - ・人工集中地区 など



## プロット作成

在宅対応可能エリア（距離）別にプロットを作成

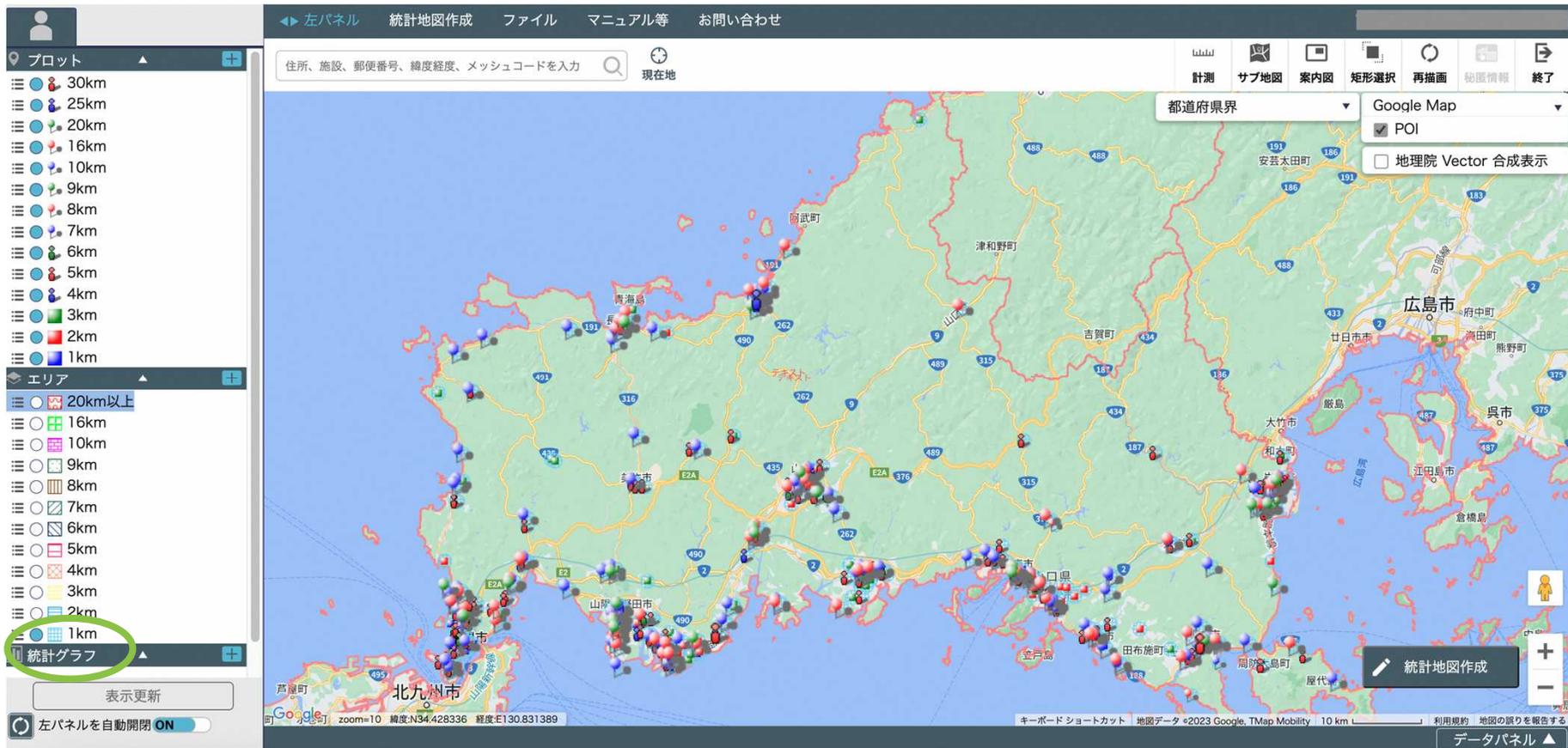
1kmから10kmまでは1km毎、以降16km、20km、25km、30kmで分類



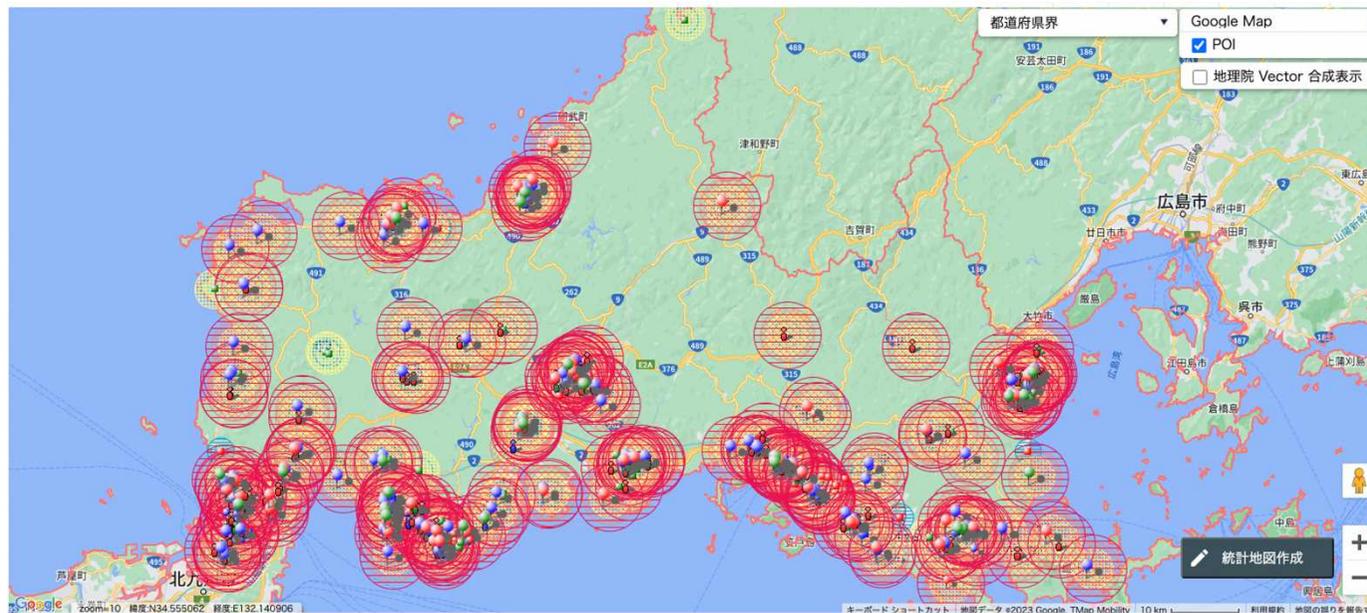
回答薬局の大部分が、人口集中エリアに分布していることが分かる

# 在宅対応可能エリア（距離）の視覚化

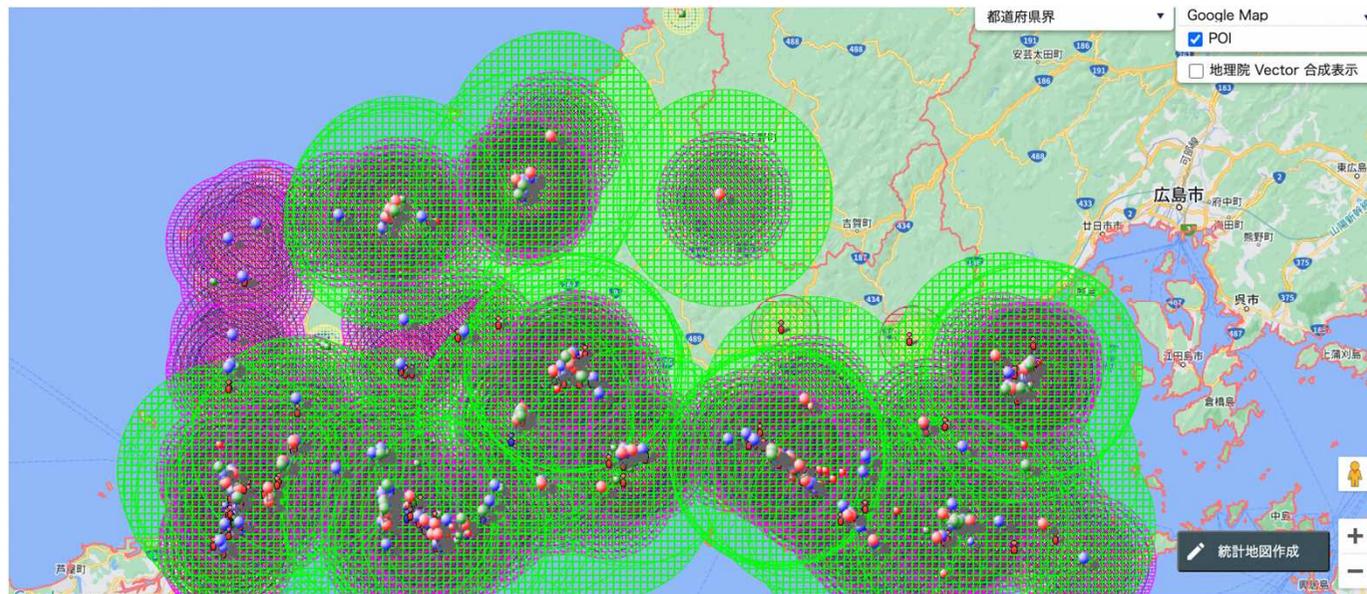
在宅対応可能エリア（距離）に応じて円を加えていく。  
システムの上限が半径20kmのため、20km以上は全て20km半径とする。



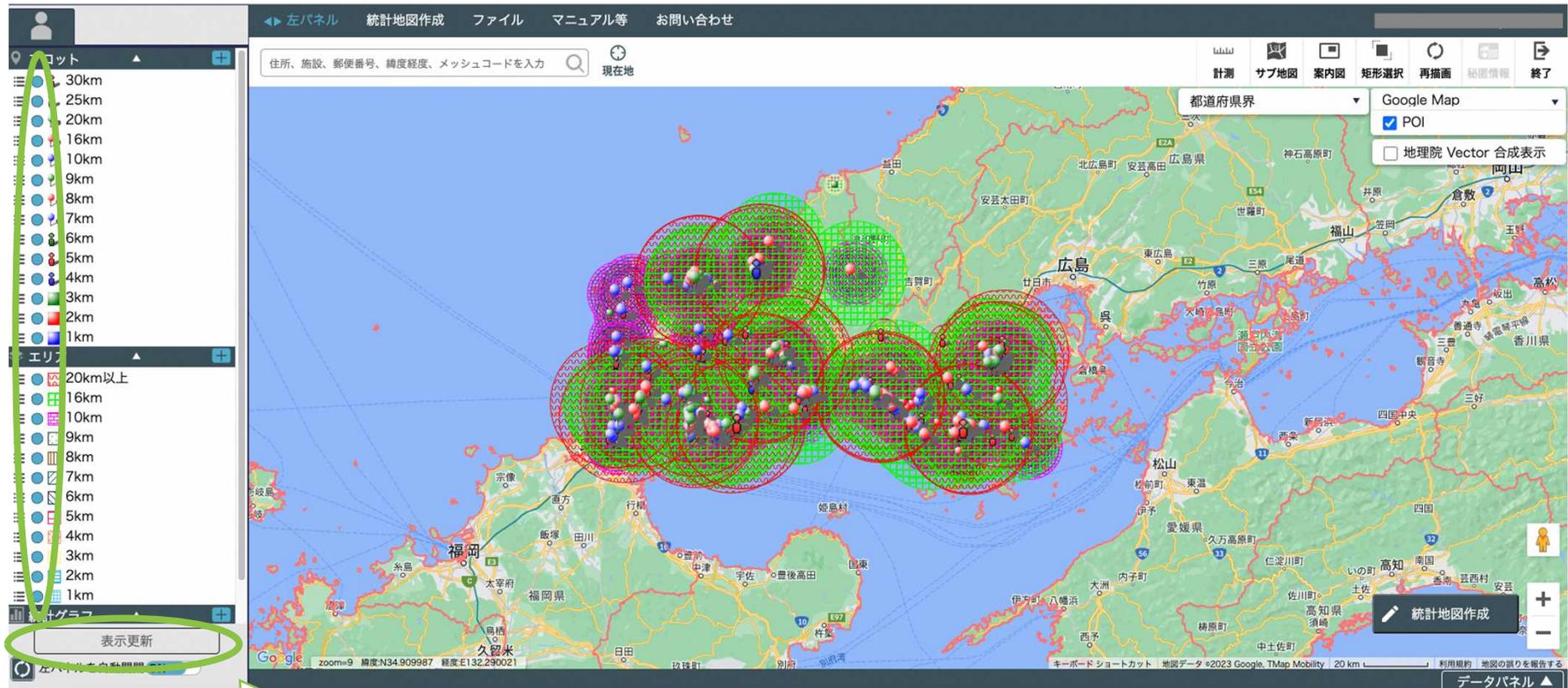
# 5kmまで対応可能な場合



# 16kmまで対応可能な場合



20km以上 (20 k m、25 k m、30 k m) 対応可能な場合  
システムの上限が半径20kmのため、20km以上は全て20km半径とする。



●をクリックし、●○を切り替えた後に表示更新を行えば、  
必要なプロット、エリアだけを表示することが可能。

# 統計グラフのインポート

統計グラフ作成 作成するグラフの指標を選択してください。

統計データ ユーザーデータ お気に入り

調査名  
国勢調査

年  
2020年

集計単位  
小地域 (町丁・字等)

統計表

✓ 選択してください

- 男女別人口総数及び世帯総数
- 年齢 (5 歳階級、4 区分) 別、男女別人口
- 世帯人員別一般世帯数
- 世帯の家族類型別一般世帯数
- 住宅の所有の関係別一般世帯数
- 住宅の建て方別世帯数
- 人口性比、密度
- 年齢別人口構成比 (5 歳階級、4 区分)
- 単独世帯の割合
- 核家族世帯割合、世帯員年齢別割合
- 住宅の所有の関係別割合
- 産業 (大分類) 別及び従業上の地位別就業者数
- 職業 (大分類) 別就業者数
- 産業別就業者の割合
- 世帯の経済構成別一般世帯数

指標/データ 名称で検索

データはありません

指標選択 選択解除

次へ

今回は、  
世帯の家族類型別一般世帯数の  
中から、65歳以上世帯員がいる  
一般世帯数のデータを使用。

統計グラフ作成 集計単位を選択してください。

集計単位  
 小地域  エリア

集計範囲  
 画面表示範囲  行政界指定  全国

さらに集計範囲をエリアで絞り込む  
選択してください

集計イメージ

指定の行政界内で  
小地域ごとに集計を行います。

行政界単位 市区町村

都道府県  
和歌山県  
鳥取県  
島根県  
岡山県  
広島県  
山口県  
徳島県  
香川県  
愛媛県  
高知県  
福岡県

市区町村

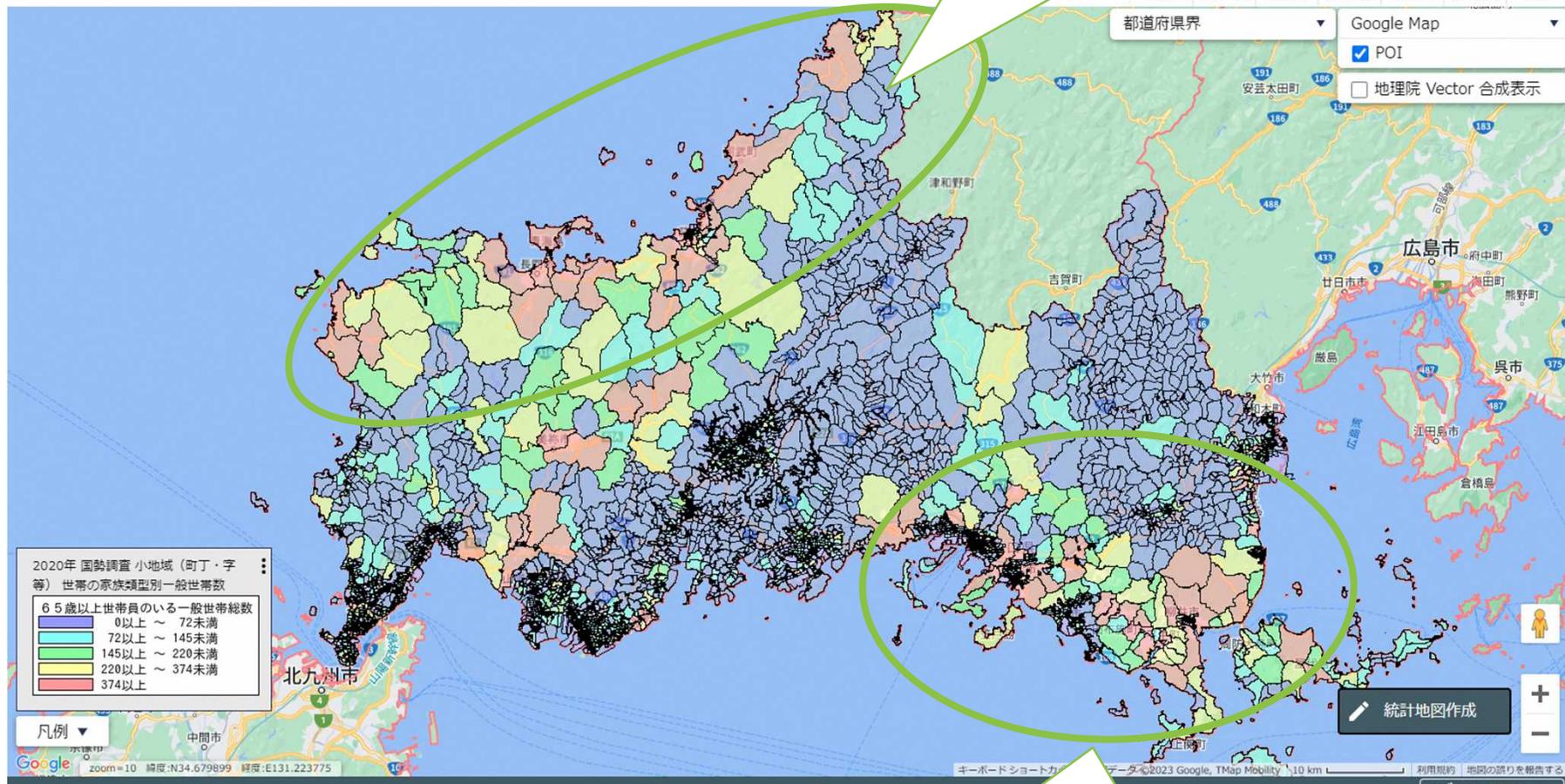
選択した行政界  
阿武町  
下関市  
宇部市  
山口市  
萩市  
防府市  
下松市  
岩国市  
光市  
長門市  
柳井市

グラフ名 2020年 国勢調査 小地域 (町丁・字等) 世帯の家族類型別-

戻る 集計開始

# 65歳以上世帯員を含む世帯が多いエリア

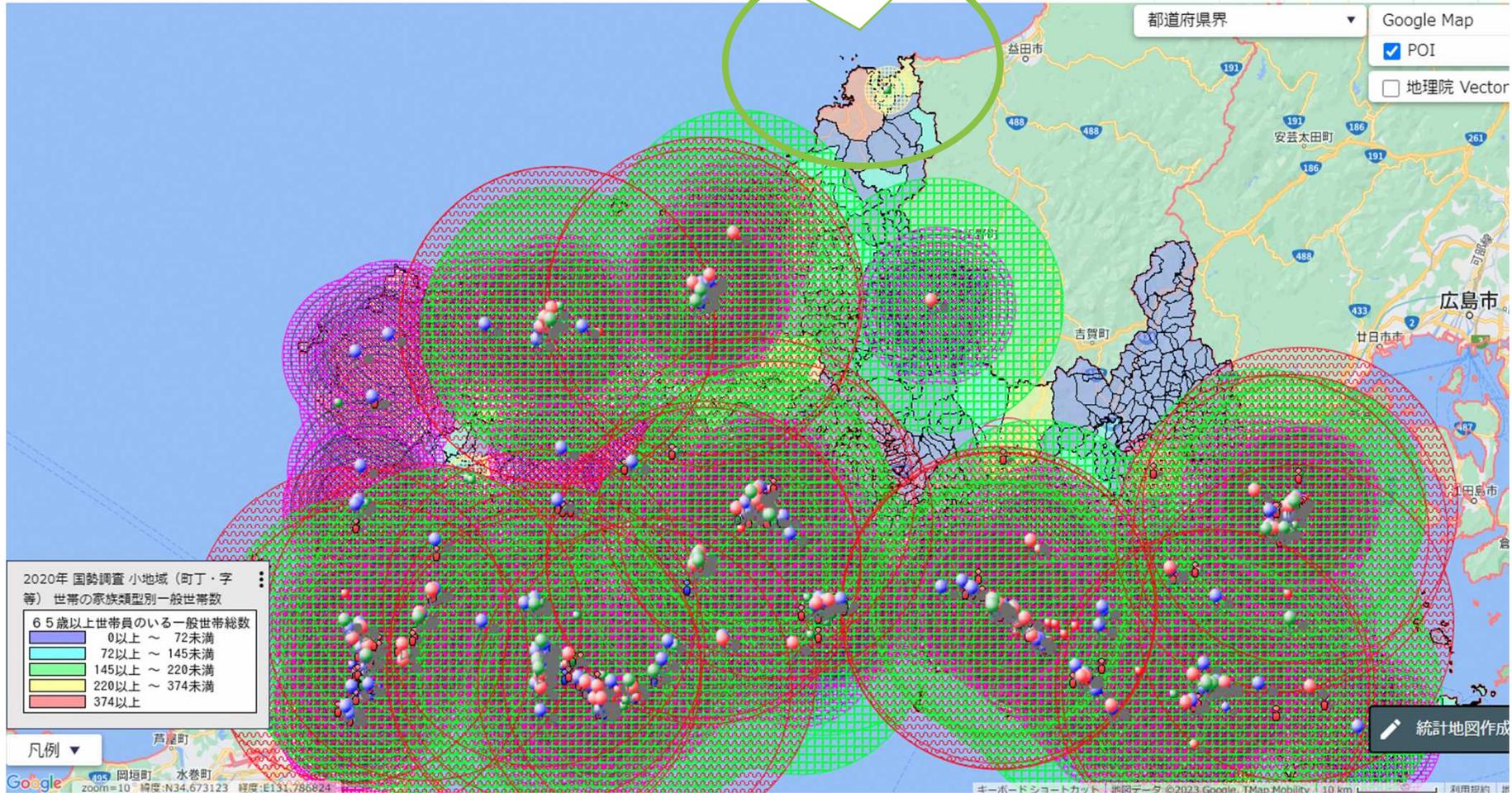
萩・長門エリアなどの山陰側



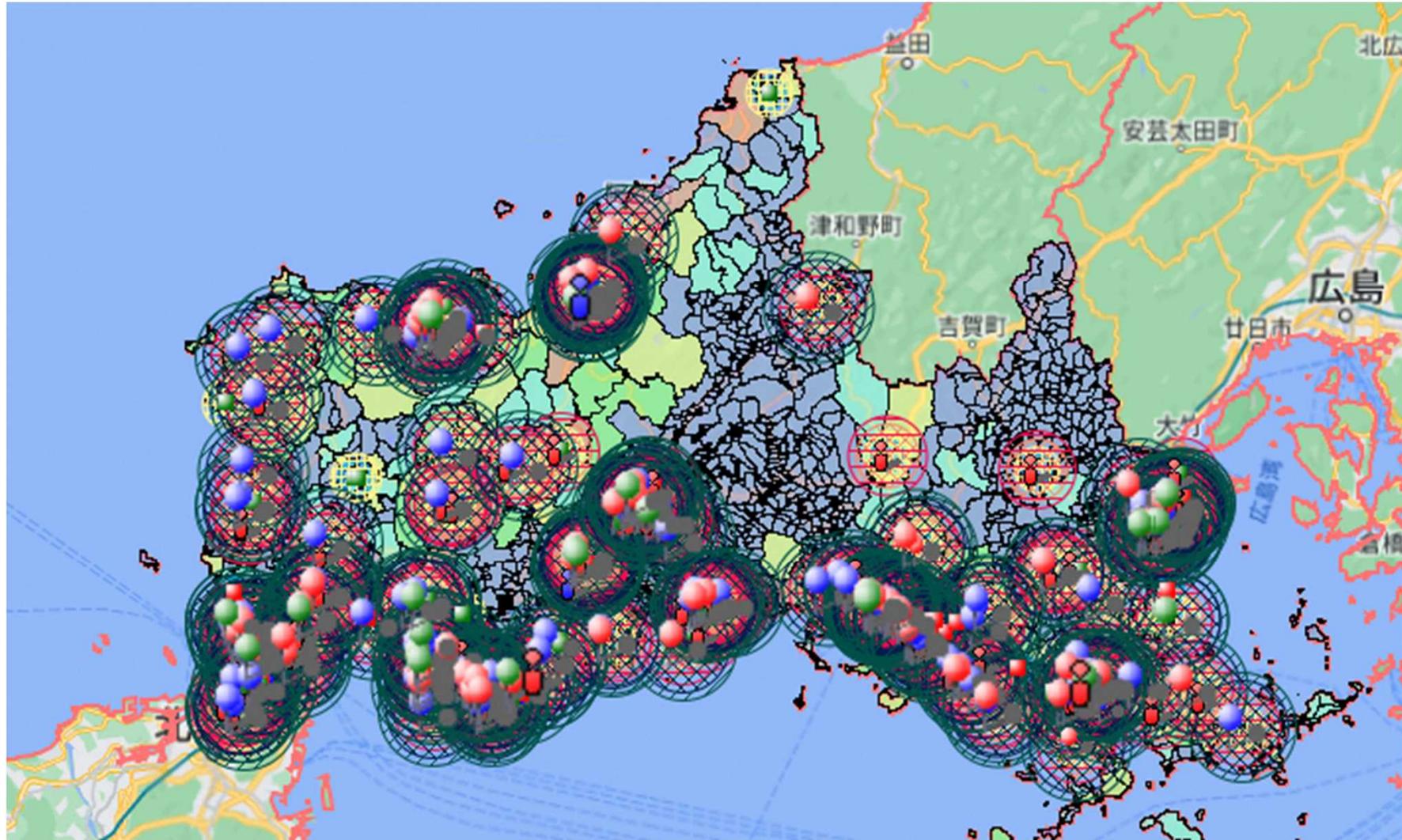
柳井地区 玖珂・周東地区など

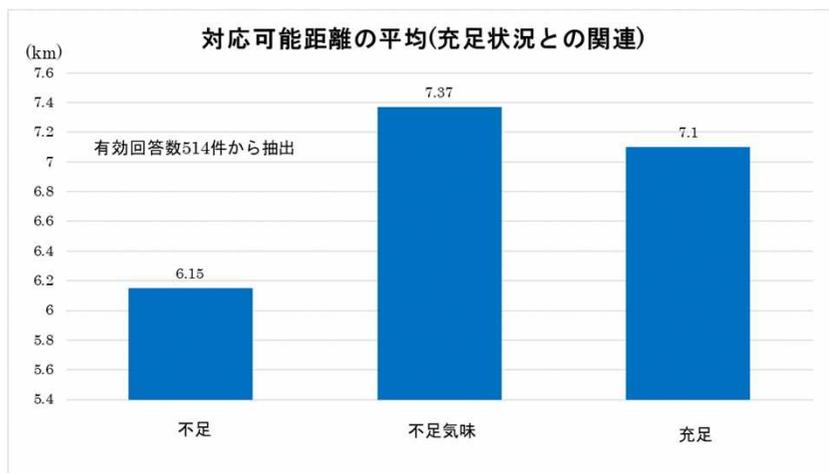
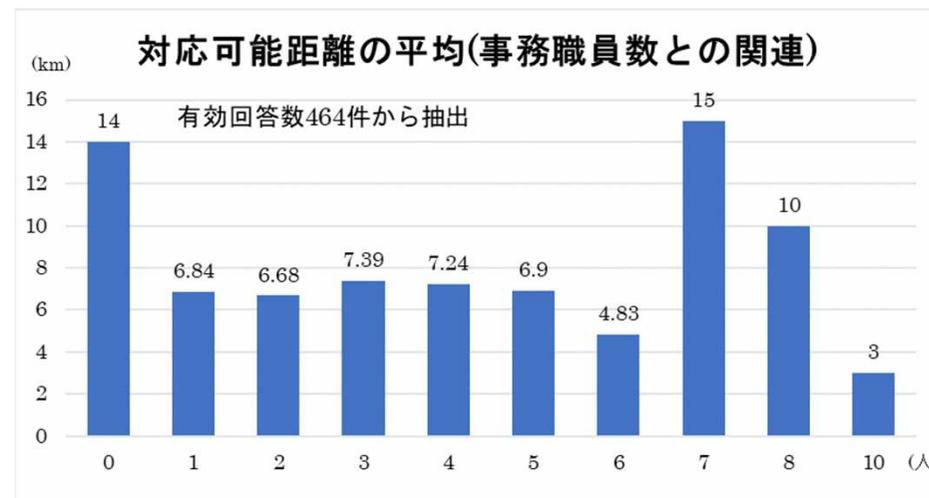
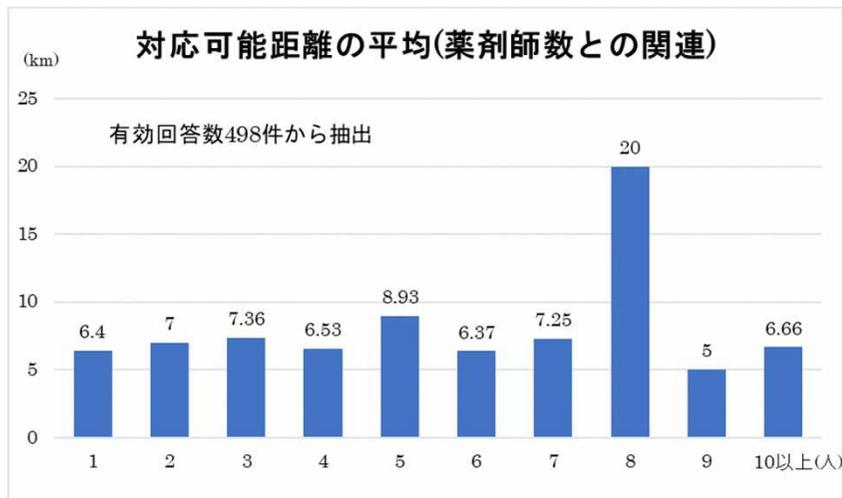
# 統計グラフとエリアを統合

全てのエリアをカバーしても、この地域では薬局機能が行き届かない可能性が高い。



「現在の薬局の人員で、日常業務への支障がなく訪問を行える患者／施設までの距離」である7kmまで対応可能エリアで検討した場合、多くの空白エリアが存在する





薬剤師数や、事務職員数と、在宅対応エリアに比例関係は認められなかった。

しかし、対応可能距離の平均(充足状況との関連)において、**薬剤師が不足しているところは、対応可能距離が少なくなる傾向**となった。

通常業務に支障をきたすほどではないが不足気味という薬局においても、充足している薬局と変わらない対応距離で活動されている点は、各薬局の自助努力と考えられる。

## 考察

今回の調査により、薬剤師が不足している薬局が一定割合で存在し、**薬剤師不足が業務拡大の妨げとなっている**ことが示唆された。

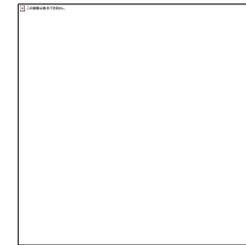
また、作成した「在宅対応可能エリア（距離）と統計データとの相関関係を示した山口県マップ」を見ると、在宅療養の対象となる可能性が高まる**65歳以上**が世帯員に含まれる**世帯が一定以上あるエリアの全てを薬局機能でカバーできているとは言い難い結果**となった。

このことから、薬局機能の拡充により対応エリアを拡大することで全県をカバーしていくことが求められるが、必要な薬剤師数を見ると常勤薬剤師1名に満たず、非常勤薬剤師の補充で足りる結果となった。

その理由の一つに、調剤報酬と経営バランスが考えられ、日本全体の地域医療の確保のため、調剤報酬の拡大、その後の採用枠の拡充が求められる。その結果、山口東京理科大学をはじめとする薬学生の新卒者採用枠の増加にも繋がり、関連組織の協力のもと採用推進策を実施することによって慢性的な薬剤師不足の解消にもつながると考えられる。

本調査の結果を踏まえ、**今後の高齢化、山口県内の薬剤師の高齢化、20-30代の薬剤師不足の影響**などを**継続的に調査・評価していくことが重要**と言える。

山口県内全域をカバーするために  
山口県薬剤師会としての取り組み



## 山口県薬剤師会の取組

- ・在宅薬事コーディネーター

## 下関市薬剤師会の取組

- ・在宅サポート薬剤師

## 【在宅薬事コーディネーターの配置】

令和2年度より地域での在宅介護の窓口となる在宅薬事コーディネーターを育成し、**地域包括支援センターごとに配置**する事業を展開。

既に地域包括支援センター毎に1名以上の在宅薬事コーディネーターを配置し、現在は2名以上の配置を目標に育成研修を継続している。

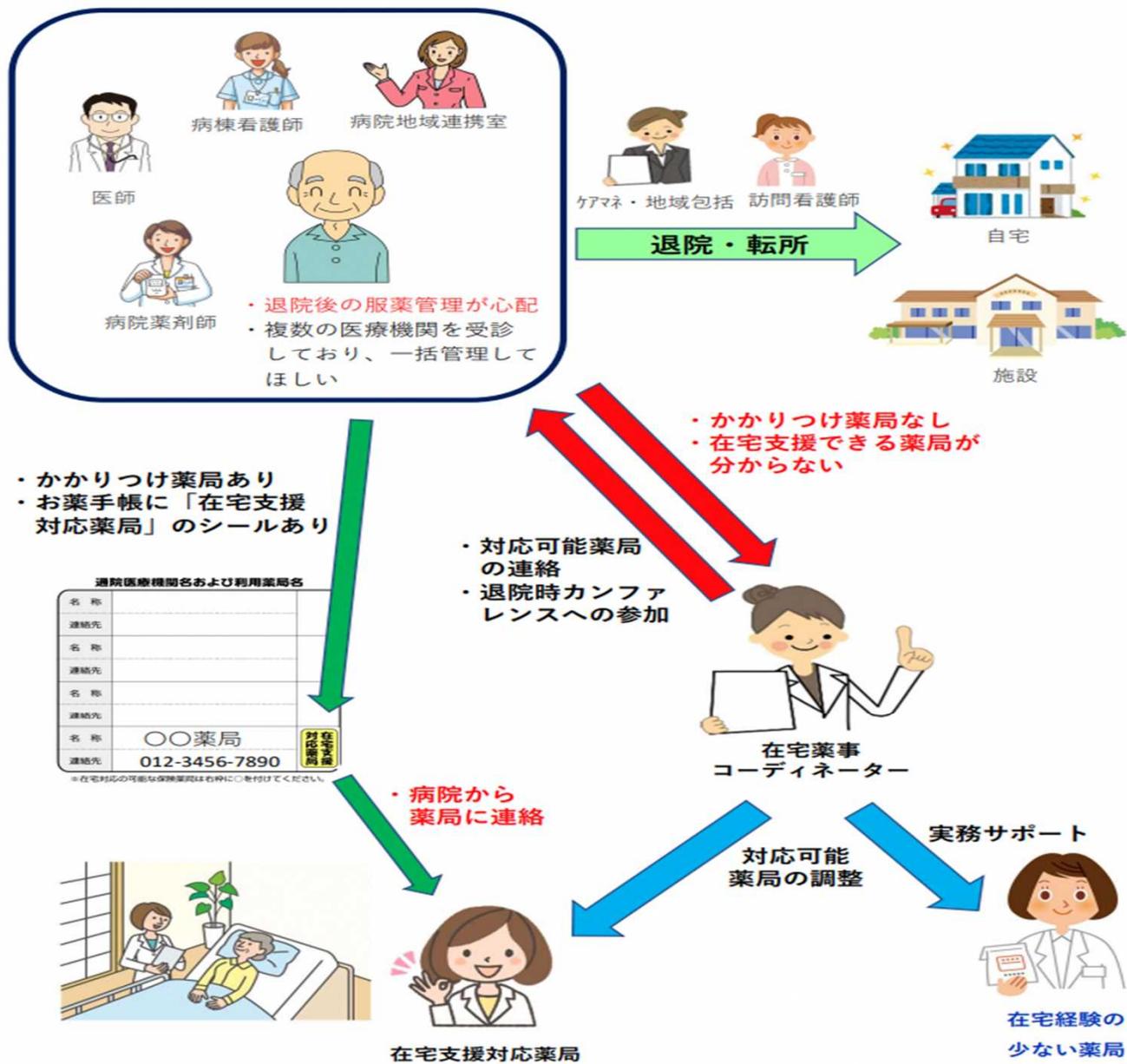
## 【在宅薬事コーディネーター業務内容】

- ① 薬剤師による在宅訪問を希望する患者と保険薬局との仲介
  - ・ かかりつけ薬局が不明・決まっていない
  - ・ 調剤した薬局の連絡先が分からない
  - ・ 在宅介護に対応する薬局が分からない など
- ② 患者が希望した薬局が在宅介護の経験が少ない場合の支援
- ③ その他、薬局による在宅医療に関する各所からの相談窓口

## 【配置状況】

山口県内の地域包括支援センター数：63箇所  
在宅薬事コーディネーター数：77人

# 業務内容イメージ図



## 下関市薬剤師会の取組

### 【在宅サポート薬剤師】

会営薬局の薬剤師が、特に在宅訪問薬剤管理指導が困難な一人薬剤師の薬局・在宅未経験の薬局を対象に非常勤薬剤師登録を行い、その薬局が単独で在宅訪問可能になるまでその薬局の薬剤師として訪問管理指導を行う。

## 【サポート業務実施の大まかな流れ】

- ・ 依頼薬局において、本事業の対象となる案件の発見。



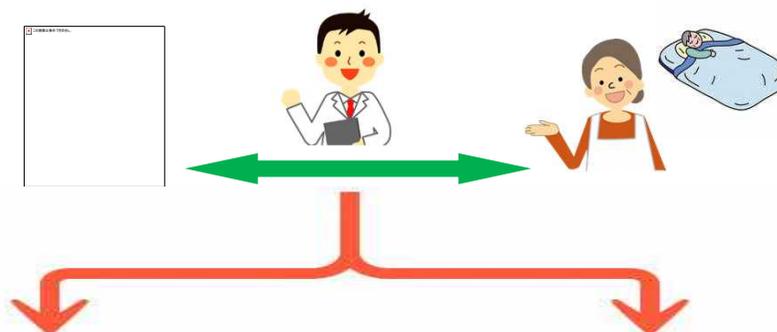
- ・ 依頼薬局は、事務局に電話等で連絡する。



- ・ 在宅サポート薬剤師が依頼薬局を訪問し、サポート依頼書（別紙2）を受取り、内容を確認する。

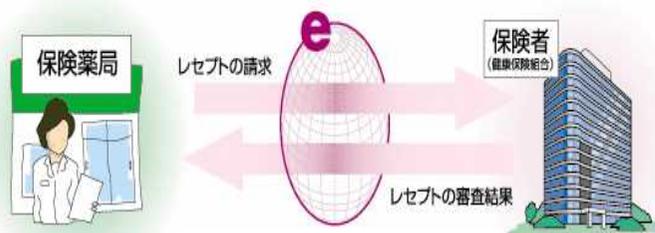


- ・ 在宅サポート薬剤師は、依頼薬局より患者又は利用者情報を確認し、居宅訪問服薬指導のサポートを行う。



調剤報酬又は介護報酬請求を行った時

- ・ 依頼薬局が調剤報酬又は介護報酬を請求する。  
(在宅サポート薬剤師がサポートします。)



調剤報酬又は介護報酬請求を行わなかった時

- ・ 依頼薬局は、医師や介護職等に結果を報告する。  
(利用料等の負担は発生しません。)



- ・ 依頼薬局は当会に契約に基づく利用料を支払う。

